



SEABORG
300JL

取扱説明書

目次

安全上の注意	1~7
--------	-----

電源について	8,9
電源とのつなぎ方	8
電源について	9
バッテリーチェック表示について	9

お手入れ方法	10,11
リールのお手入れについて	10
お手入れ方法	10
コード取扱い上のご注意	11
コードのお手入れのしかた	11
その他お手入れ上のご注意	11

各部の名称と機能	12,13
----------	-------

スイッチの名称と働き	14,15
------------	-------

道糸入力方法	16~25
「棚センサーブライト編」	16,17
「リールに巻く糸の長さがわかる編」	18~20
「下巻き入力」	21~23
「引出し入力」	24,25

機能設定の基本操作	26~52
1.モード画面の使い方	26~28
便利機能の設定のしかた	26~28
2.釣りを始める前に	29
水面ゼロ設定	29
道糸が切れてしまったら	29
3.船べり自動停止	30
4.えらべる船べり自動停止	31
5.糸送り機構	32
6.チョイ巻きスピード設定方法	33
7.チョイ止め設定方法	34
8.底からカウンター	35,36
9.巻上げスピード実測値表示	37
10.コマセタイマー	38
11.コマセタイマー巻上げ	39,40
12.シャクリ	41,42
13.えらべる名人シャクリ	43,44
14.一定速度巻上げモード	45,46
15.LED ON・OFF	47
16.表示補正	48,49
17.ロッドクランプ装着方法(別売)	50

18.その他の便利機能	51
いろいろアラーム	51
アラームON・OFF選択	51
カウンターランプ	51
ブレーカー作動表示	51
19.ハンドルノブの取り外し方	52

仕様一覧	53
リール仕様一覧	53
カウンター部仕様	53

展開図	54
-----	----

故障かな?と考える前に	55
-------------	----

ライン入力方法一覧

このリールは下記の方法で入力できます。

P0 指定入力 16,17	当社棚センサーブライト巻きデータをインプットするだけのカンタン入力。
P1 糸長入力 18~20	巻く糸の全長がわかっている時に便利な方法。
P2 下巻き入力 21~23	下巻きを入れる時の入力方法。ただし、長さのわかる道糸100M以上が必要です。
P3 引出し入力 24,25	道糸を巻き終った状態から引き出して再入力するための方法です。ただし、長さのわかる道糸100M以上が必要です。

この度は、シーボーグ300JLをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。船釣りに便利な機能が多く搭載されているこの電動リールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様、この説明書も大切に保存していただきますようお願い申し上げます。

安全上の注意

電動リールをご使用にあたり注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

●マークについて



この記号は「**してはいけないこと**」を意味しています。
この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。



この記号は「**注意すべきこと**」を意味しています。
この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。



この記号は「**しなければならないこと**」を意味しています。
この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。

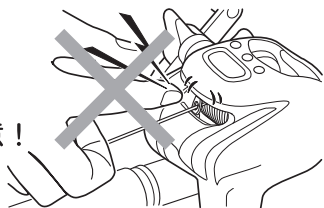
警告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 糸をスプールに平行巻きにするレベルワインドと本体の間に指をはさまれないようご注意ください。けがをする恐れがあります。



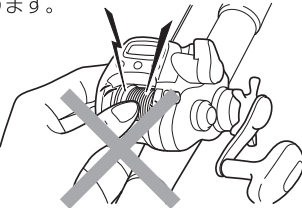
接触注意！



- 糸送り（モーター作動）中にクラッチをONにすると糸を巻き込みます。その際は指をはさまれないよう注意してください。けがをする恐れがあります。



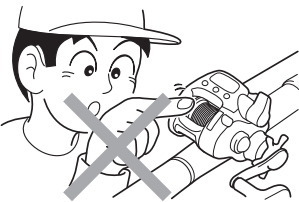
接触注意！



- お子さまが使用する時は、回転部やスキマに手をはさまれないよう、付き添いの保護者の方は十分ご注意ください。



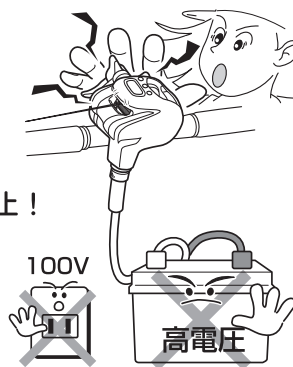
取扱注意！



- バッテリー、船電源などを使用する場合は、所定電圧以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが異常発熱し、手をヤケドしたり、ICが故障したりする恐れがあります。
家庭用（交流）電源にはつながないでください。回路がショートし発煙・発火する場合があります。



使用の禁止！



- 幼児の手の届く所では保管、使用はしないでください。



保管注意！



安全上の注意

⚠ 警告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電動リールを使用されますと微弱な電波が発生し、補聴器・ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与える場合があります。特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が電動リールを使用されますと、動悸、目まいが起こる場合がありますので、本製品のご使用前に必ず当該各医用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



- ハーネスなどで電動リールを体に固定するのはおやめください。大きな魚により、海水へ引き込まれるなど、生命身体に危害が及ぶ恐れがあります。



使用の禁止！



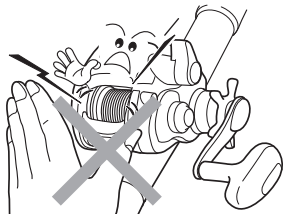
⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 駆動しているとき、駆動部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



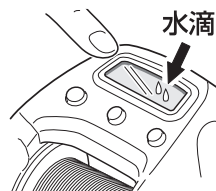
接触禁止！



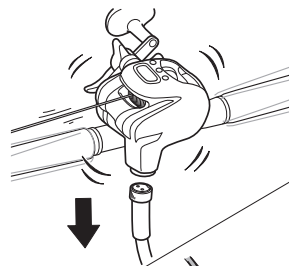
- 液晶中に水滴が見られる場合、モーターの回り放しなどICが故障して異常動作をすることがあります。すぐにご使用をやめて修理にお出してください。



使用の禁止！



- 何らかの異常で釣りの最中にモーターが回り放しになった場合は、指をはさまれない様、注意して、直ちに電源を外してください。



電源を外す！



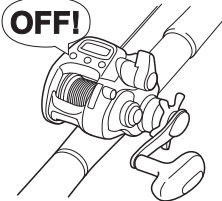
⚠ 注 意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ドラグ力を設定する際は、必ずその前に、電動自動巻き上げをOFFにしてください。手で糸を引いてセットする場合があるので、糸で手を切る恐れがあります。



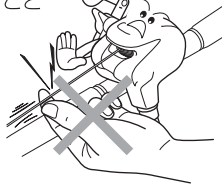
電源を切る！



- 糸が勢いよく出ているとき、または、糸を巻いているときに、糸をつかまないのでください。糸で指を切ることがあります。



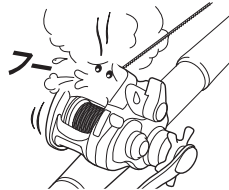
接触注意！



- 屋内で糸を巻くときは、高速で行ってください。低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に発熱し発煙する恐れがあります。また、電動巻き上げ性能が低下することがあります。



取扱注意！



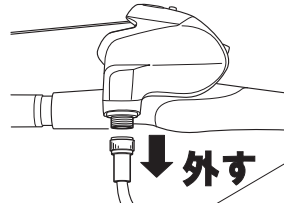
- 船上でコードの再接続をするときは、接続部に海水などの水分が付着していることがありますので、乾いた布でよく拭き取ってから、接続してください。そのまま接続すると、ショートして、感電・発煙・発火の恐れがあります。



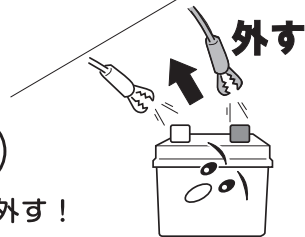
取扱注意！



- お手入れの際は、駆動を停止して、電源を抜いてから行ってください。不意に駆動して、けがをする恐れがあります。



電源を外す！



- 使用状況や保管状況によって、コードが断線、ショートなどの故障を起こし、発煙・発火に至る場合があります。『コード取り扱い上のご注意』、『コードのお手入れのしかた』、『その他お手入れ上のご注意』を必ずお守りください。なお、コードの手入れは、電源を外してから行ってください。古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。



正しい取扱を！



安全上の注意

⚠ 注 意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 根掛かりしたときは、竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。（手袋やタオルで必ず手を保護しましょう。）
太いハリスをご使用になっている場合、手で持って切れそうもないと思われるときは、船長に相談して安全に対処してください。



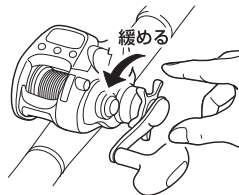
けがに注意！



- 電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分に緩めてから接続してください。
！C故障時にモーターが回り放しになり、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。



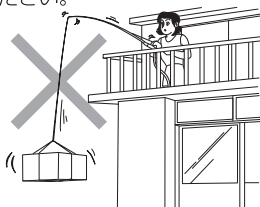
取扱の実施！



- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。



目的以外の
使用禁止！



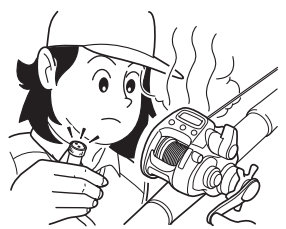
- 塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥れた場合は、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



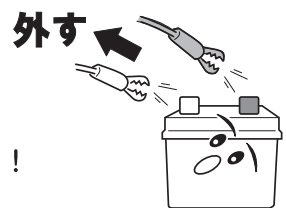
接触禁止！



- こげくさい時や漏電など異常時には駆動を停止して、電源を外してください。発熱や発火、感電の原因になります。



電源を外す！



- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。



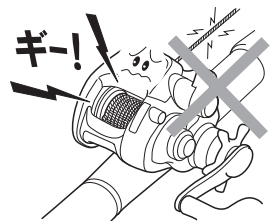
取扱注意！



- ワイヤーは、道糸として使用しないでください。スプールが腐食したり、破損したりすることがあります。



使用の禁止！



⚠ 注 意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 他の釣り人と仕掛けが絡んだり、根掛かりしたときは、無理に巻かないでください。竿その他を破損する恐れがあります。



取扱注意！



- 分解・改良などはしないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。



改造の禁止！



- コードの改造はしないでください。ショートなどの故障を起こし、発煙・発火の恐れがあります。



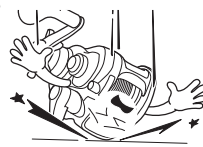
改造の禁止！



- 落下などのショックにより破損あるいは内部電子部品の損傷、クラックによる浸水、基板短絡が生じ機能障害を起こします。強い衝撃や重圧が加わらないようご注意ください。（外観上には異常が見られなくても故障していることがあります。）



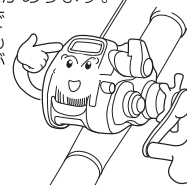
取扱注意！



- 使用途中で、カウンター表示がずれてきたり、道糸が切れたり、電源が外れたり、大きな張力変動があったりしたときは、カウンター表示の再設定を行ってください。そのまま再度使用しようとすると、巻き込んで竿その他を破損する恐れがあります。水面に仕掛けがある位置でのリセットを忘れた場合も同様のことが起こる恐れがあります。



操作の実施！



取扱上のご注意

電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

■マグシールド

「マグシールド」は磁性を持つ液体を利用することで、磁性を持つ液体の壁を作り、水の浸入をシャットアウトする 画期的構造。滑らかな回転はそのままに、水、異物の浸入を抑えることで初期回転性能を長期間持続。イヤな塩ガミがなくなることで、長期間使用時の回転低下や異音を改善し、耐久性が大幅に向上。

■マグシールドボールベアリング

独自の技術により、ボールベアリングそのものをマグシールド化。磁性を持つ液体の壁によって、ボールベアリング 内部への水、異物の浸入を抑えることで、ボールベアリング自体の錆、塩ガミ、異音を大幅に解消。



注意

- ・マグシールドボールベアリングそのものへの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
- ・分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。



注意

- マグシールドボールベアリングの優れた防錆・防塵性能は、内部に封入された磁性を持つ液体（マグオイル）の壁により維持されています。
- ・マグオイルはやや多めに封入されている為、ボールベアリングの表面にマグオイルが滲み出ることがありますが、性能には影響ありません。（表面の滲み出たオイルは拭き取らないでください。）
- ・マグシールドボールベアリングを指や、布、綿棒等で触れたり、拭いたりすることは絶対におやめください。マグオイルが拭き取られることにより、マグシールド機能を損なう恐れがあります。

安全上の注意

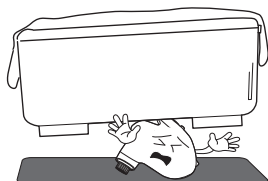
取扱上のご注意

電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。



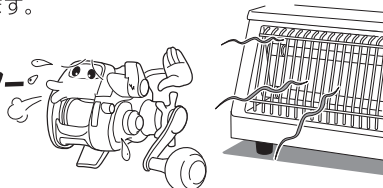
お願い

- リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。

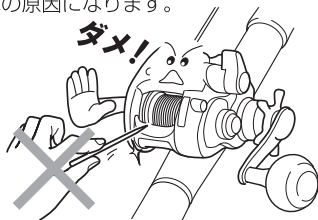


- 発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。

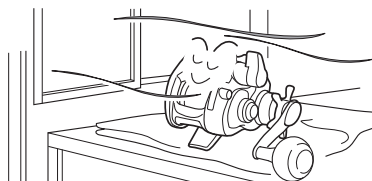
フー



- スプールとフレームのスキマやその他本体のスキマに棒や金属物などを入れないでください。故障の原因になります。

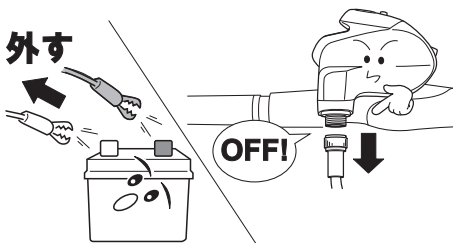


- リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、直射日光を避けなるべく通風性のよい場所に保管してください。また、ドラグを緩めた状態で保管してください。

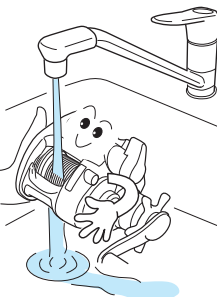


- 電源を外すときは、駆動を停止してから、行ってください。故障の原因になります。

外す



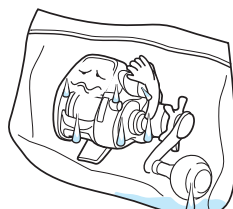
- 塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐食する恐れがあります。水道水を糸巻き部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。



- 釣りにお出かけの前には、リールの点検（動作点検）を行ってください。故障によって、釣行に支障をきたすことのないようにするために。



- 濡れたままビニール袋やバケツなどで、リールを保管しないでください。錆や故障の原因になります。

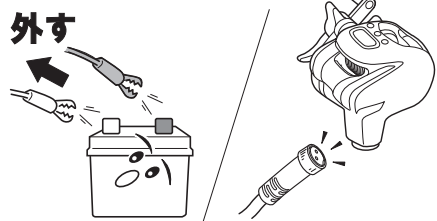


⚠️ お願ひ

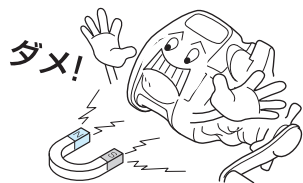
- 電動リールを洗剤で洗うときは、中性洗剤を薄めて使用してください。塩素系、酸性及びアルコール系洗剤は使用しないでください。樹脂が劣化して、故障の原因になります。



- リールを使用しないときは、電源・コードを外しておいてください。



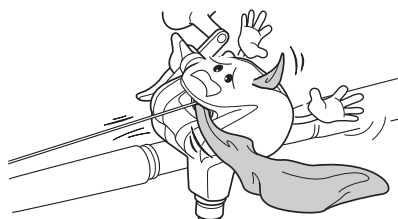
- 磁石等磁力のある物は近づけないでください。誤動作や故障の原因になります。



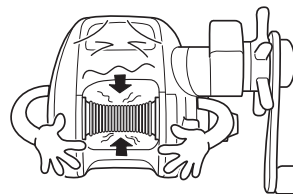
- 振り出しロッドを仕舞い込む際に、リールをつけたまま竿尻を床面等にトントン叩いて仕舞わないでください。リールが破損する恐れがあります。



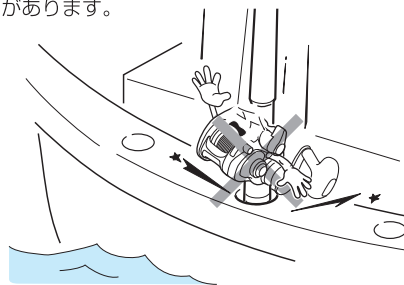
- 糸巻き中に布などが巻き込まれないように、ご注意ください。また、バックラッシュ等によりフケタ糸の巻き込みにもご注意ください。



- 水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損する恐れがあります。特に、PE専用機種には、ナイロン・フロロラインなどを巻かないでください。



- 船べりの穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当たらないか確認してください。当る場合は、穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。



◆カウンター部について

①偏光ガラスの使用

②真冬（カウンターの表面温度-10℃以下）および真夏（カウンターの表面温度60℃以上）

上記の場合には、液晶の特性上文字が見にくくなることがございます。ご了承ください。

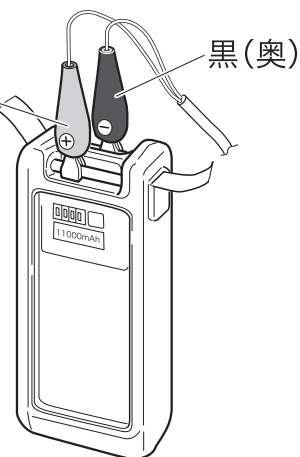
③早朝や夕方など太陽光の入射角によって液晶表示の影が見えることがありますが異常ではありません。

電源について

●電源のつなぎ方

- 1.まず、コードのクリップ(2つ)と電源をつないでください。

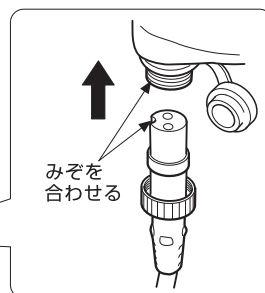
クリップは赤いカバーのほうプラス $+$ 、黒いカバーのほうがマイナス $-$ です。



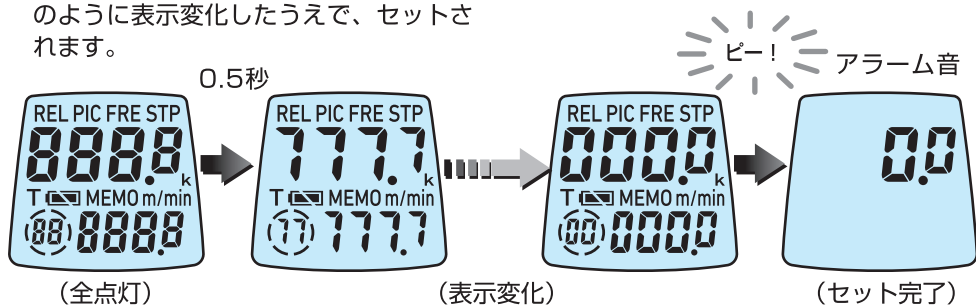
- 2.次に、付属コードのコネクタとリール本体をつないでください。



※図はスーパーリチウム
11000



※以上の手順が正しく行なわれると、下図のように表示変化したうえで、セットされます。



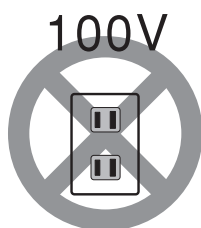
注意

・1度電源につなぐと、メモリーバックアップ(カウンター情報の保存)機能が働くため(最低15分間)、その後の電源との再接続時には、上記の表示変化がされないでセットが完了するケースがありますが、問題はありません。

●電源について

このリールは直流（DC）12V対応の電動リールです。指定外の電源（たとえば、家庭用の交流（AC）100V、船装備の直流24Vなど）では使用できません。

なお、船電源は、発電機や配線の関係で電圧が不安定になりやすく、リールの保護回路が働いて回転が停止したり、断続的になってしまうことがあります。リールの性能を十分に発揮させるためにも、電動リール専用バッテリーをご使用ください。



- ・ 出発前によく確かめてください。
- 1. バッテリーは、長時間放置されると自然放電（残量低下）している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行なってください。
- 2. 船の電源は、電圧、接続端子の形状などにより使用できないことがあります。事前に確認することをおすすめします。
- ・ 端子のサビなどによりリールが正常に作動しない場合があります。サビなどは取り除いてご使用ください。

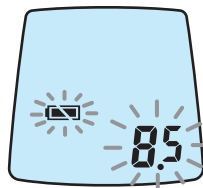
●バッテリーチェック表示について

通電時に、電源電圧がDC10.0V以下になると、底からカウンター（下のカウンター）に電源電圧が点滅表示され、図のようなバッテリーチェックマークが点滅します。10V以下では巻き上げパワー（スピード）が制限され最大にできなくなります。

モーター回転がストップしているときにこの表示が点滅している場合、バッテリー残量の減少による電圧低下が考えられます。そのときには、バッテリーを充電したものと交換してください。（船電源をご使用の場合は、電源の電圧や端子をチェックしてください。）



バッテリーチェックマーク



※図では、電圧が8.5Vしかないことを示しています。

※バッテリーが切れカウンター表示が消えた状態で（魚とのやりとり等で）手巻きで糸を巻くと水深カウンターが狂い、次のバッテリーで電動巻き上げた時に糸を巻き込み、竿先を折る可能性がありますのでおやめください。カウンターが消えたら、そのままの状態でもバッテリーを交換してください。

お手入れ方法

●リールのお手入れについて

このリールは、水洗いできる「洗える電動リール」です。釣りが終わった後でコマセ汚れなどをきれいに洗い流してください。

●お手入れ方法

1. 柔らかいスポンジなどでリール本体を洗い、汚れを落とします。

※汚れがひどい場合に使う洗剤は中性洗剤のみを薄めて使用してください。

※使用量目安：水1ℓに対して1.5mℓ

液体（薬用）石鹼など石鹼類及び弱アルカリ性など中性以外の洗剤のご使用はおやめください。故障の原因になることがあります。

2. 水をかけて洗剤と汚れをよく落としてください。スプール部にもよく水をかけて塩分を落としてください。

給湯器をご使用の際は、温度設定を30℃以下としてください。

3. よく水を切り、陰干ししてください。

※保管の際は、ドラグを緩めてください。

※ハンドルノブ内部には水がたまりやすいため、特に注意して水切りをしてください。

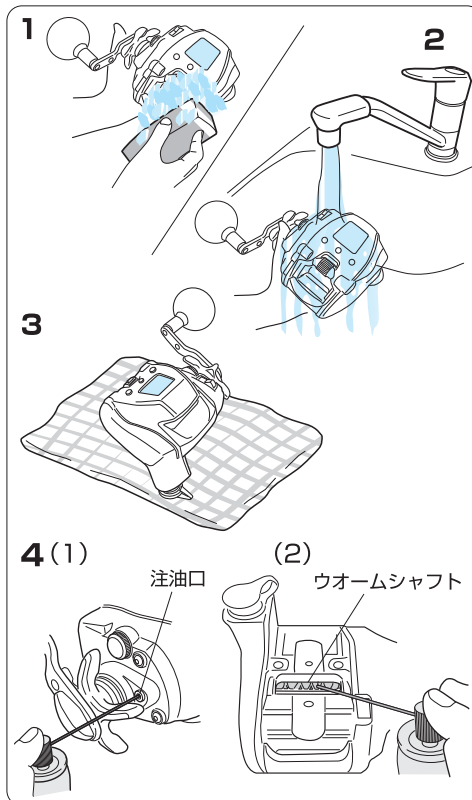
4. 注油してください。

(1) サイドプレートの注油口からシュッとひと吹き注油してください。注入量が多すぎるとオイルが流れ出ることがありますのでご注意ください。

※REVボールベアリング用オイル 以外は、絶対に注油しないでください。リールの性能が発揮されません。

専用スプレーは釣具店にてお取り寄せください。
部品コード：04980059

(2) ウォームシャフト部へシュッとひと吹き注油します。



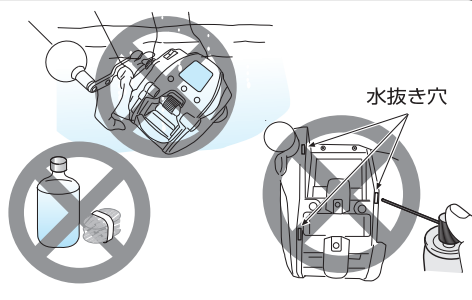
※推奨グリス：純正リールガードグリス
(商品コード：04980020)

専用スプレーは釣具店にてお取り寄せください。



注意

- ・海水で洗ったり水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・リール本体に傷が付きますので、みがき粉、タワシ、スチールタワシなどは絶対に使用しないでください。
- ・注油したオイルがはね返り噴き出す可能性もありますので、のぞき込まないでください。
- ・水抜き穴への注油は厳禁です。
- ・本体に磁力を近づけないでください。



●コード取扱い上のご注意

コードの断線等によるトラブルをさけるために必ず守ってください。
※コードを改造することはおやめください。思わぬ故障の原因となります。
コードは大切にしてください。

- ・コードを持ってリールをぶらさげるとは、おやめください。

- ・リール本体にコードを差し込んだまま本体にぐるぐる巻き付けることは、おやめください。

- ・コードを水洗いすることは、おやめください。

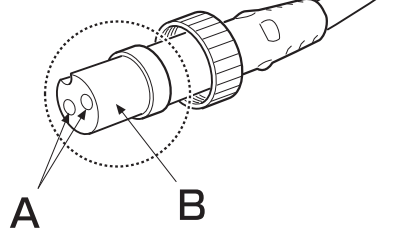
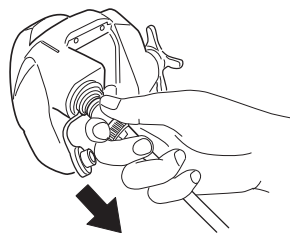
- ・コードの上に重い物を乗せたり、コードを結んでしまうような行為は、おやめください。

●コードのお手入れのしかた

- ・ご使用後は、水道水または温湯で浸した柔らかい布で外観部の汚れを拭き取り、よく乾かしてください。
- ・特に、ワニグチクリップはカバーを外して完全に乾かしてください。
- ・乾燥後は、コネクタ部の注油を行なってください。
- ・リールのコードは、本体から外して保管してください。

- ・コードを抜くときは、必ずコネクタ部を持って抜いてください。

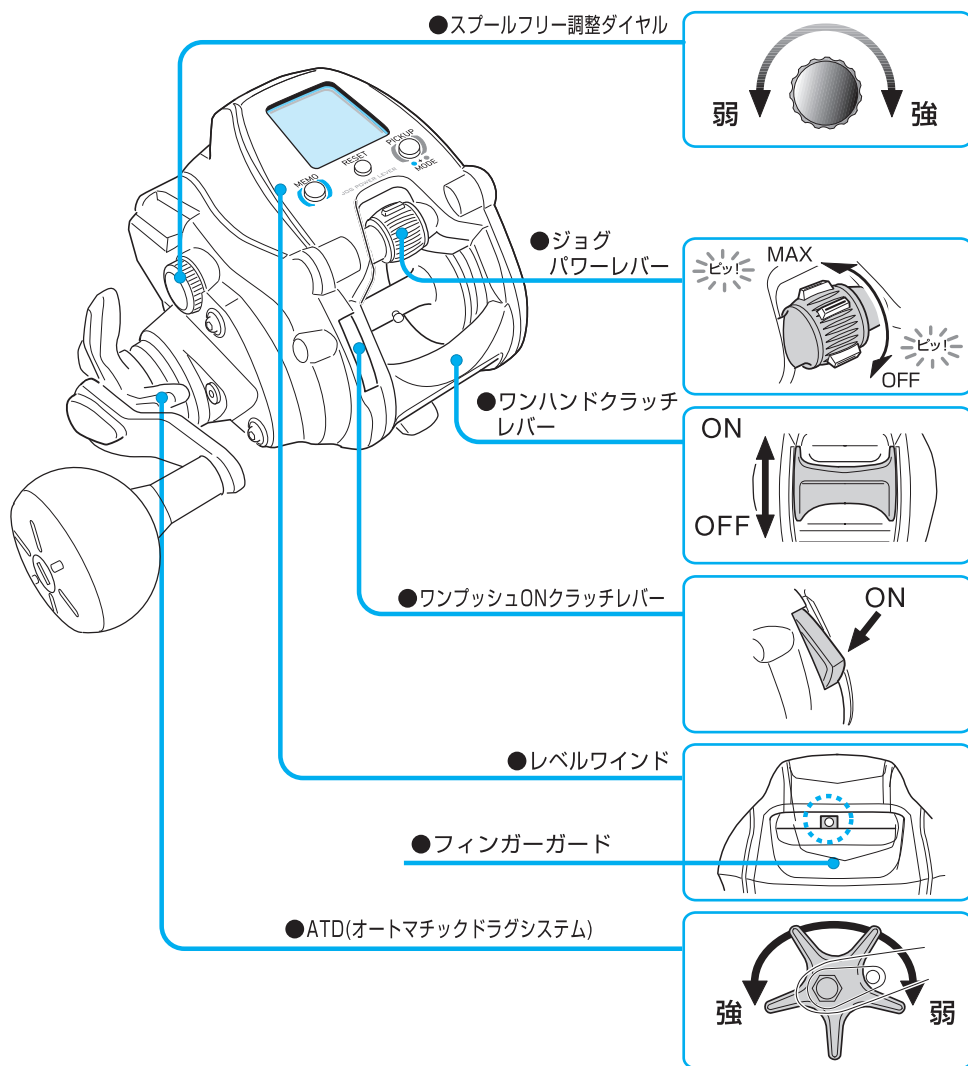
- ・A (ピン)、B (外周部) の汚れを拭き取り、グリスを注油してください。



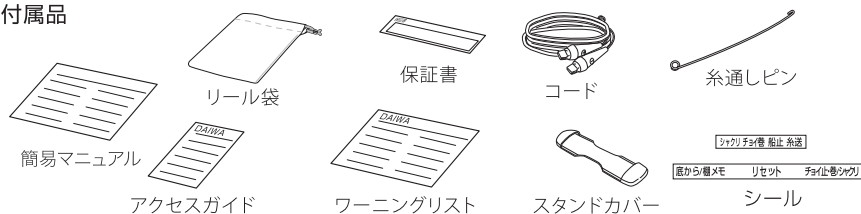
●その他お手入れ上のご注意

- ・このリールは電気回路、モーターなどの精密な部品を内蔵しておりますので、お客さまご自身での分解組み立ては極めて困難です。おやめください。
- ・コネクタ部保護のため、リールをご使用にならないときは防護用コネクタキャップでフタをしてください。
- ・古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。

各部の名称と機能



●付属品



●ジョグパワーレバー

- ・レバー操作により巻上げパワー（スピード）をON/OFF～MAXまで自由自在に変速させることができます。
- ・レバーを前（左図MAX側）に倒すと、パワー（スピード）アップします。（巻き上げ速度、増加）
レバーを元（左図OFF側）に戻せば、パワー（スピード）ダウンします。（巻き上げ速度、減少）
- ・巻上げを開始するとき、パワーレバーがOFFの位置にないときは、レバーを一度OFFの位置まで戻して（OFFの位置でアラームが鳴ります）から、レバーを前に倒して巻上げを開始してください。
- ・船べり停止位置付近では、安全のためパワーレバー操作がきかない場合があります。

●ATD(オートマチックドラグシステム) ※ドラグノブクリック付き

- ・スタードラグの締め付けを調節することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。
- 1. リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調節してください。
- 2. クラッチONの状態、手で糸を引き出しながらドラグの締め付けを調節します。通常は、糸（ハリス）が切れる寸前にスプールが空転するように調節します。
- ・船べり停止位置付近では、安全のためパワーレバーでの操作がきかない場合があります。

●ワンプッシュONクラッチレバー

- ・クラッチOFFの時、レバーを押すとクラッチがONになります。
- ・ロッドを持っている手で素早くクラッチがONできます。

●スプールフリー調整ダイヤル

- ・バックラッシュ（糸フケによるパーマ）を防止するブレーキです。船の揺れや仕掛けの重さなどにより、締め付けぐあいを調節してください。

●レベルワインド

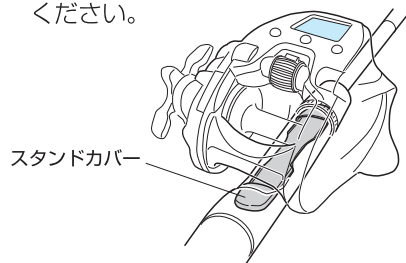
- ・ガイドに糸を通します。糸がスプールに平行に巻けます。
- ※糸を巻く際の条件により、スプールへの糸巻き状態に若干の片寄りが見られる場合があります。

●ワンハンドクラッチレバー

- ・親指で軽く下に押すだけでクラッチが切れます。
- ◆ONの時→ ハンドルを回すと糸が巻き取れます。
- ◆OFFの時→ スプールがフリーになります。ハンドルを正転方向に回せばクラッチONになります。

●付属品

- ・コード・シール・簡易マニュアル
- ・リール袋・保証書・アクセスガイド
- ・ワーニングリスト
- ・糸通しピン
レベルワインドに糸を通すときに使います。
（糸通しピンは、付属品としてビニール袋に、リール袋と一緒に入っています）
- ・スタンドカバー
リール・ロッドへの傷付き防止及びリールシートとのがたつき防止としてお使いください。

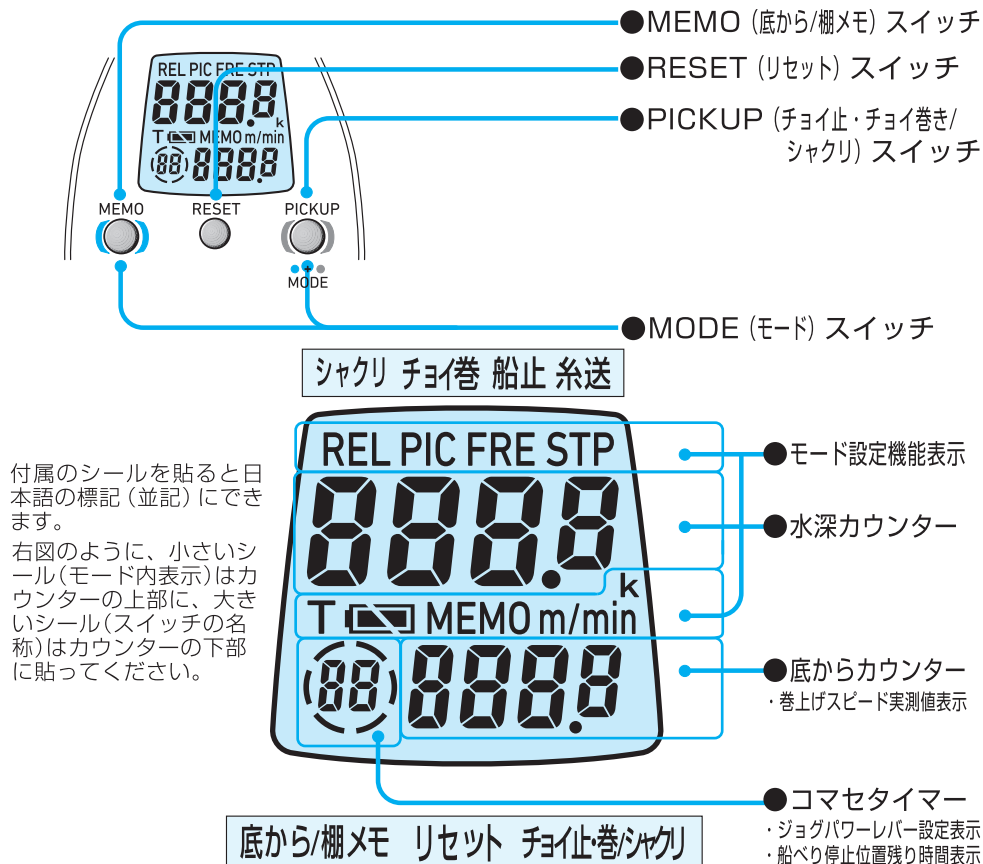


スタンドカバー

⚠ 注意

- ※スタンドカバーを付けるとロッドによっては、リールが付かない場合があります。
- ※取付部が回転するロッドでは、スタンドカバーが破れる場合があります。
- ※リールシートを強く締め込み過ぎるとスタンドカバーが変形し、スプールに接触してスプールフリー（仕掛け落下）が悪くなる恐れがあります。

スイッチの名称と働き



付属のシールを貼ると日本語の標記（並記）にできます。

右図のように、小さいシール(モード内表示)はカウンターの上部に、大きいシール(スイッチの名称)はカウンターの下部に貼ってください。

●RESET (リセット)

RESET スイッチを押すと、上のカウンター（水深カウンター）が **0.0** m になります。

また、コマセタイマーがリセットされます。

※釣りを始める前に、RESET スイッチを必ず1度押してください。スイッチを押した点を基準に、船べり自動停止位置が設定されます。

（画面に **STP**（糸送）の表示が出ます。）

船べり自動停止の初期設定は、**2.0** m にしてあります。P. 29「水面ゼロ設定」

・糸切れした場合のデータ修正以外は、カウンター誤差の原因になりますので RESET スイッチの長押しはしないでください。

●MEMO (底から/棚メモ)

MEMO スイッチを押すと、底からカウンター（下のカウンター）が **0.0** m となり、狙いの棚がメモリー（記憶）されます。

・底からカウンター（下のカウンター）を見ながら棚とりを行えるので、誰でも簡単に、しかも正確にできます。
・コマセタイマーは、このスイッチを押すと再スタートします。

●PICKUP (チョイ止・チョイ巻き/シャクリ)

モード設定で、チョイ止・チョイ巻きとシャクリどちらかの選択ができます。

・チョイ巻き

・ **PICKUP** スイッチを押している間、電動で巻き上げることができますので、糸ふけを取る時や、誘いをする時などに便利です。

・ 巻き上げの速さは、モードを開いて0～Hiまで変えることもできます。

※巻き上げ速度を0にした場合は、スイッチを押しても巻き上げしません。

※船べり停止位置+6mからは、安全のためスイッチを押しても作動しません。

・チョイ止め

・ 電動巻き上げしている時、**PICKUP** スイッチを押している間だけ電動巻き上げを止めることができます。

・シャクリ

電動シャクリのON/OFFができます。

・ スイッチを押すと、電動シャクリがスタートします（画面に **REL** 表示が点滅します。）

・ もう1度スイッチを押すと、電動シャクリがストップします。

●MODE (モード)

MEMO スイッチと

PICKUP スイッチを同時に2秒押すと、各種便利機能の「設定画面」になります。

・ 一度設定すれば、次回の釣行もその設定のまま使用できます。

・ 数値および機能のON/OFFの設定はすべてパワーレバーで行います。

・ 数値の入力が終わったら、**PICKUP** スイッチを押して、次のモードに移った段階でセット完了です。

・ **PICKUP** スイッチを押すごとに、画面が「コマ送り」になります。

・ **PICKUP** スイッチを押し続けると「早送り」になり、「水深」画面に戻ります。

●モード設定機能表示

- ・ 便利機能の設定画面を表示します。
- ・ セットして作動する機能は、表示が点灯（点滅）します。

STP が点灯→ **RESET** スイッチを押すと点灯します。（水面ゼロ設定をしないと、船べり5.0mで船べり停止します。）

PIC が点灯→ **PICKUP** スイッチを押している間、電動で巻き上げることができます。

FRE が点灯→ 糸送りが作動します。初期設定はOFFにしてあります。

T が点灯→ コマセタイマー巻き上げが作動します。

REL が点灯→ シャクリ設定時に、**PICKUP** スイッチを押すと電動シャクリがスタートします。もう一度スイッチを押すと電動シャクリがストップします。

 が点滅→ 電源電圧が低下した時、点滅します。

MEMO が点灯→ 底からカウンターがOnの時に点灯し、底(棚)からの水深を表示します。

m/min が点灯→ 電動巻き上げ時に、巻き上げスピード実測値を表示します。

●水深カウンター

- ・ 上（海面）からの水深を表示します。

●底からカウンター

- ・ 底（棚）からの水深を表示します。（初期通電時は、消灯しています）
- ・ 底からカウンターを非表示にする事も可能です。
- ・ 電動巻き上げ中は、実測巻き上げスピードを分速表示します。

●コマセタイマー

- ・ モーター回転ストップ時、仕掛け投入時間（コマセタイマー）を表示します。
- ・ パワーレバーの操作中は、パワーレバー設定状態を表示します。（0～Hiまで）
- ・ 電動巻き上げ中は船べり停止位置までの残り時間（分・秒）を表示します。

道糸入力方法「棚センサーブライト編」

PO 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトまたはナイロン糸を巻かれるときに、次ページに記載の糸種・号数・巻き糸量の中から選択してセットするだけでデータが入力できる便利な方法です。（タナセンサーブライト3号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。）

⚠
やけどに注意！

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 道糸をレベルwindに通してスプールに結んでください。

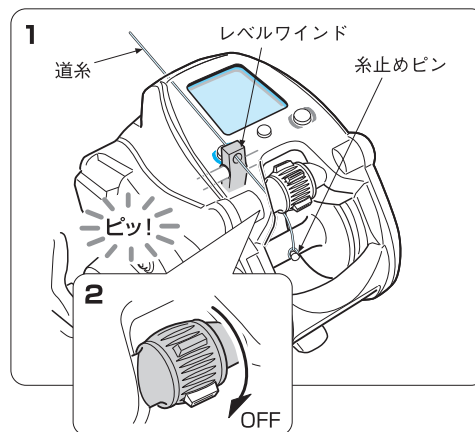
※付属の糸通しピン（P.12参照）を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させ、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。



※接続方法についてはP.8「電源のつなぎ方」を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。

⚠
注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間（※1）かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

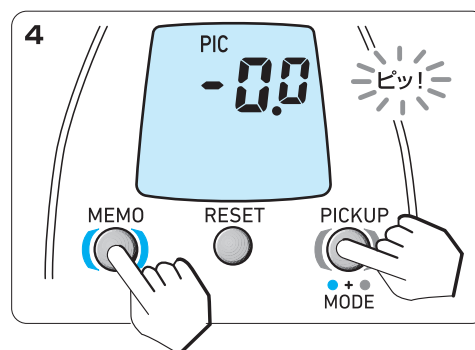
（※1）10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0（分）とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

4. 表示が **-0.0** のときに

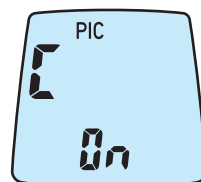
MEMO（底から/棚メモ）スイッチと

PICKUP（チョイ止/巻/シャクリ）スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。



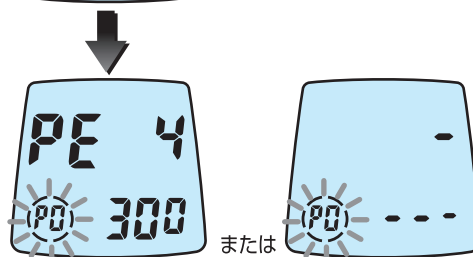
※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。



5. 初期設定PE4号－300mの画面になります。

([PO] が点滅します。)

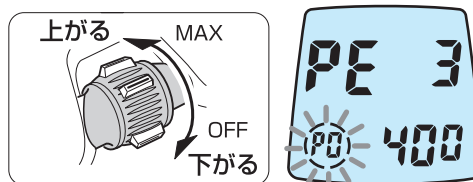
※ここで一旦スイッチを離してください。



6. ジョグパワーレバーで、ご使用になる糸と巻き量の組合せを選択してください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値下がります。

下表はデータ一覧表を示します。



※図の場合ではPE3号400mのデータがセットされます。

選択可能なデータ一覧表

PE (左上の表示がPEの場合) (m)			ナイロン (左上の表示がLの場合) (m)		
3号	300	400	5号	250	280
4号	300	—	6号	200	—
5号	200	230			

7. ジョグパワーレバーで数値が選択できたら、

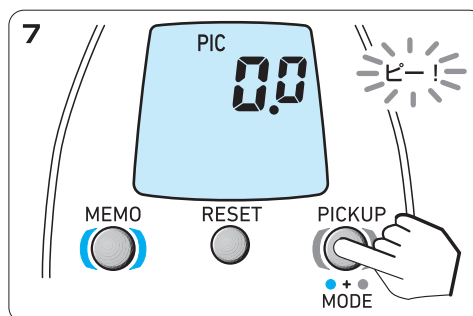
PICKUP (チョイト巻/シャクリ) スイッチ

を押して完了です。

アラーム音が鳴り、表示 [0.0] の点滅が終われば完了です。

便利

※ シーボーグ 300 JL には、あらかじめ棚センサーブライト4号－300mのデータが入力されています。棚センサーブライト4号－300mを巻く場合は、データのインプットは不要です。



道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。
(PE3号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)



やけどに注意！

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 道糸をレベルwindに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン (P.12参照) を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させてください。

4. 表示が **0.0** のときに

MEMO (底から/棚メモ) スイッチと

PICKUP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5. 初期設定PE4号300mの画面になります。

(**PO** が点滅します。)

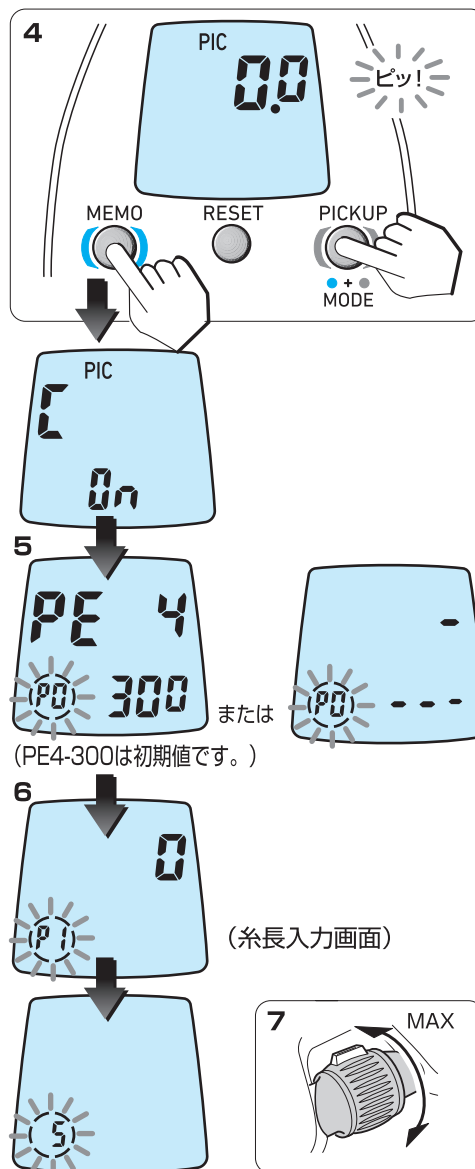
※ここで一旦スイッチを離してください。

6. **PICKUP** (モード[チョイ止・巻/ジャクリ]) スイッチを1回押して糸長入力画面にします。

(**P1** が点滅します)

7. テンションを調整して、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

※パネル左下の数字が5～6になるようにテンションを調整してください。





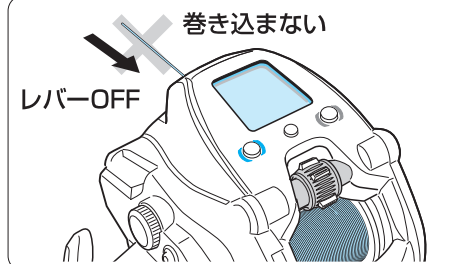
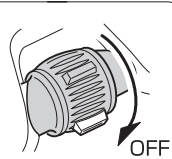
注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間（※1）かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

（※1） 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0（分）とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

8. 巻き終えたらジョグパワーレバーをOFF位置まで戻します。（アラーム音）

8

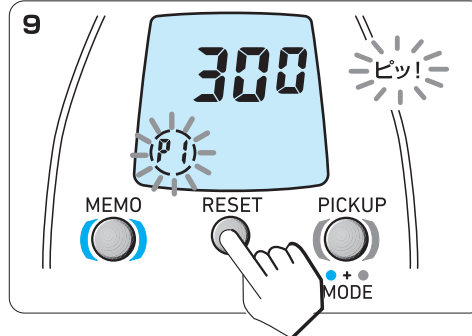


注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE2号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

9. RESET(リセット) スイッチ を2秒以上、表示が 300 mになる まで押してください。 （300は初期設定値です。）

9

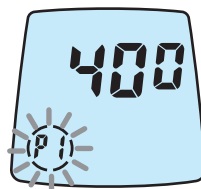


道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

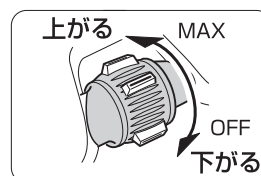
P1 糸長入力

10. ジョグパワーレバーで、道糸の長さをセットします。

(図は、400mにセットした場合です。)
(セットする数値は、10m単位です。)



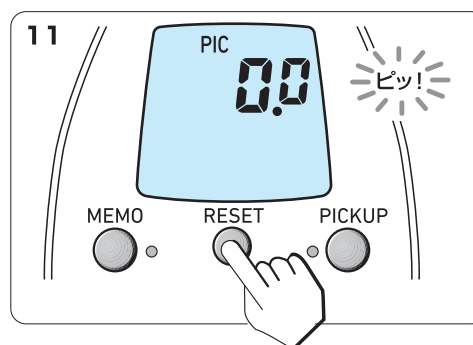
10



11. RESET (リセット) スイッチ

を2秒以上押してください。アラーム音が鳴り、表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。

※ **Err** になった場合は、
PICK UP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ
を押して始めから再度入力又は、引出し
入力 (P24.25) をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。



やけどに注意！

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 下巻用の糸をレベルワインドに通してスプールに結び、通电させてください。

※付属の糸通しピン (P.12参照) を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

※ジョグパワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置 (手前) に戻してから出力してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに

MEMO (底から/棚メモ) スイッチと

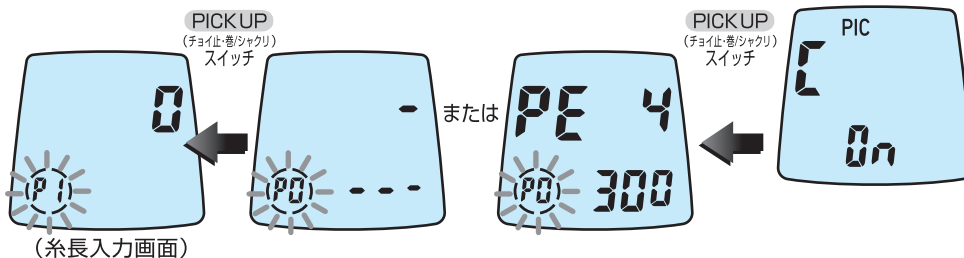
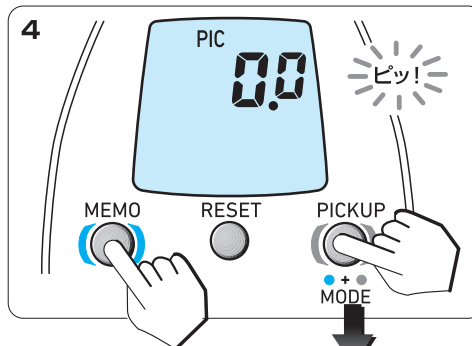
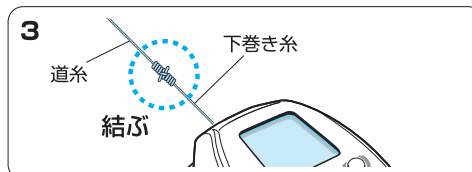
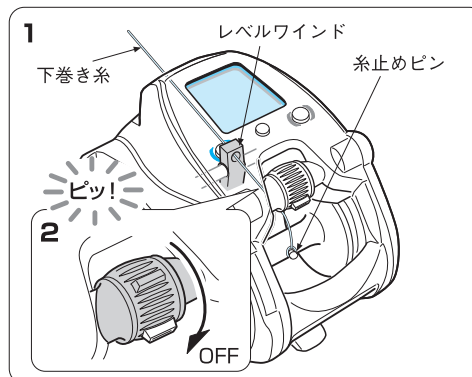
PICKUP (チョイ止/巻/シャクリ) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **P0** が点滅します。

※ここで一旦スイッチを離してください。

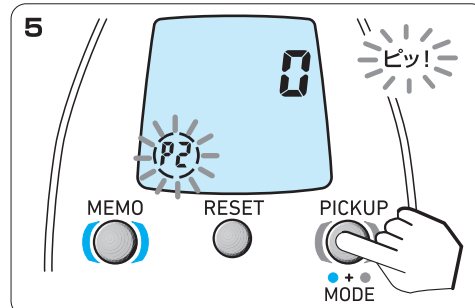
次にもう一度 **PICKUP** (チョイ止/巻/シャクリ) スイッチを押すと **P1** が点滅します。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

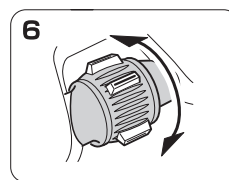
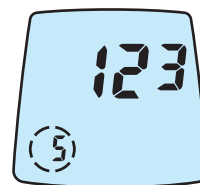
5. 糸長入力画面になったらもう一度
PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ
を押して下巻き入力画面にしてくだ
さい。
P2 が点滅します。



6. テンションをかけて糸色に注意しな
がら残り100mになるまで道糸を
巻いてください。

ジョグパワーレバーを倒すと P2 (画面
左下の数字) がテンション表示に変わり上
のカウンターの数値が上がります。

パネル左下の数字が5~6になるようにテ
ンションを調整して巻いてください。

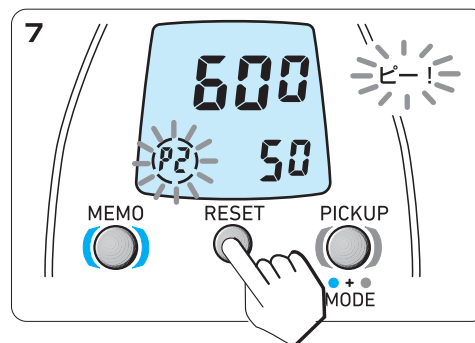


注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。
糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し
故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、
実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画
面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3
→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入
力可能です。

7. RESET(リセット) スイッチ
を2秒以上押してください。

P2 が点滅し、下のカウンターが 50
になります。
上のカウンターの数値は糸を巻くと増えて
いきます。

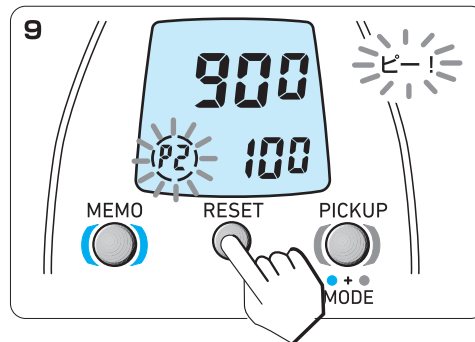


8. テンションをかけて糸色に注意しな
がら50m道糸を巻いてください。

9. RESET (リセット) スイッチ

を2秒以上押してください。

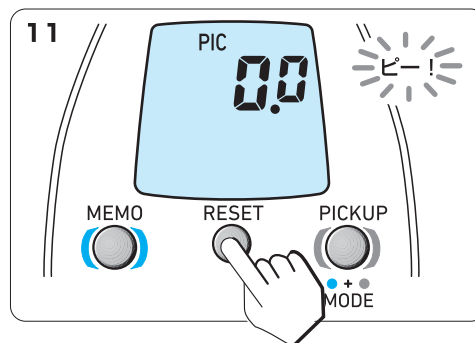
下の数字が **100** になります。



10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。

11. RESET (リセット) スイッチ

を2秒以上押して表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1～2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、
PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ
を押して始めから再度入力又は、引出し
入力 (P24.25) をしてください。

道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

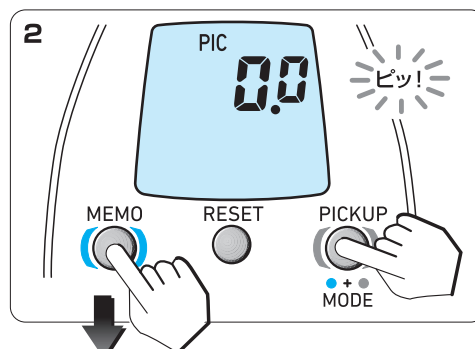
道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 通電させてください。

2. MEMO (底から/棚メモ) スイッチ と
PICK UP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ
を同時に6秒以上押し続けてください。

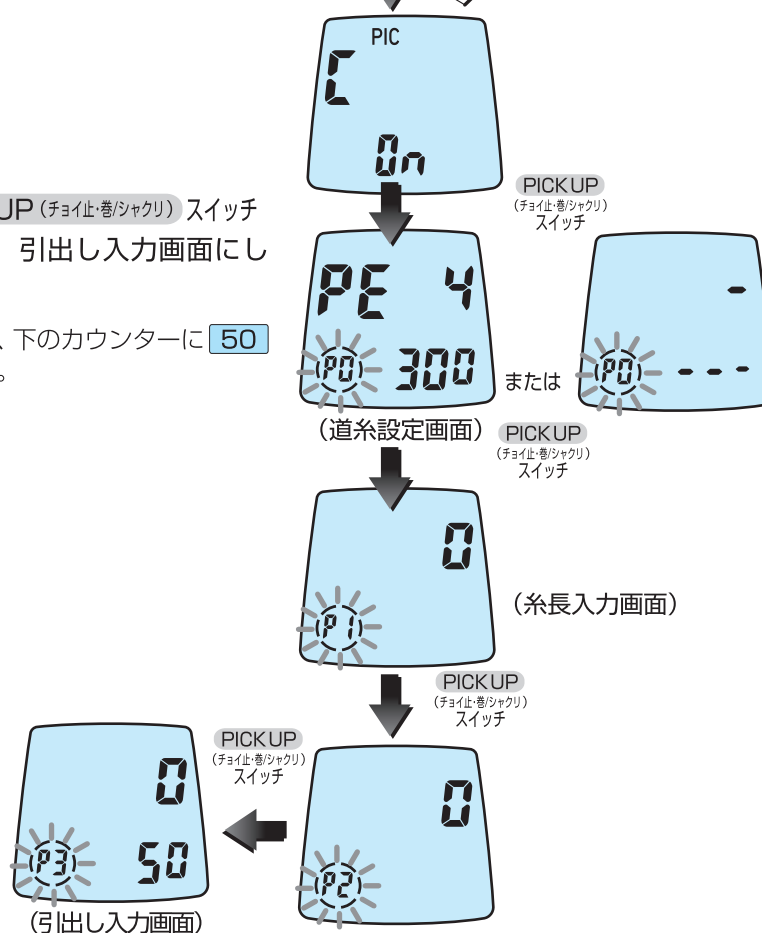
※チョイ巻き画面になりますが、そのまま
押し続けると道糸設定画面になり **P0**
が点滅します。

※ここで一旦スイッチを離してください。



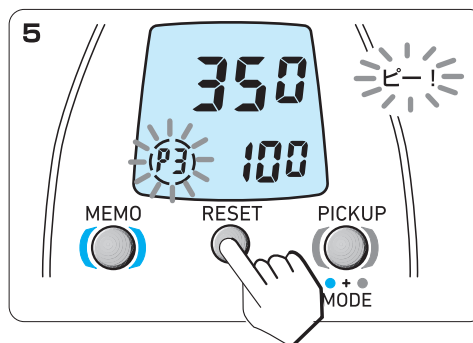
3. さらに PICK UP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ
を3回押して、引出し入力画面にし
てください。

※ **P3** が点滅し、下のカウンターに **50**
と表示されます。



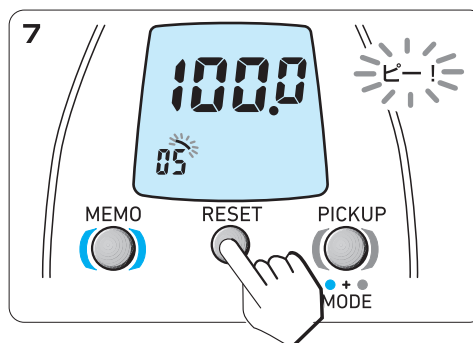
4. 糸のマークに注意しながら、50m 引き出します。

5. RESET (リセット) スイッチ
を2秒以上押してください。
下の数字が 100 になります。



6. 糸のマークに注意しながらさらに
50m引き出してください。

7. RESET (リセット) スイッチ
を2秒以上押してください。
上の数字が 100.0 になります。



8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1～2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ Err になった場合は、
PICK UP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ
を押して始めから再度入力をしてください。

機能設定の基本操作「1.モード画面の使い方」

●便利機能の設定のしかた

- ・モードの中には便利な機能が満載されています。
 - ・設定画面でジョグパワーレバーを操作して数値および機能のON/OFFを選択し、**PICKUP** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ を押して次の画面にすればセット完了です。
- ※セットした機能は、次の釣行もメモリーされています。
(モード設定直後に電源を切った場合、メモリーされない場合があります。)

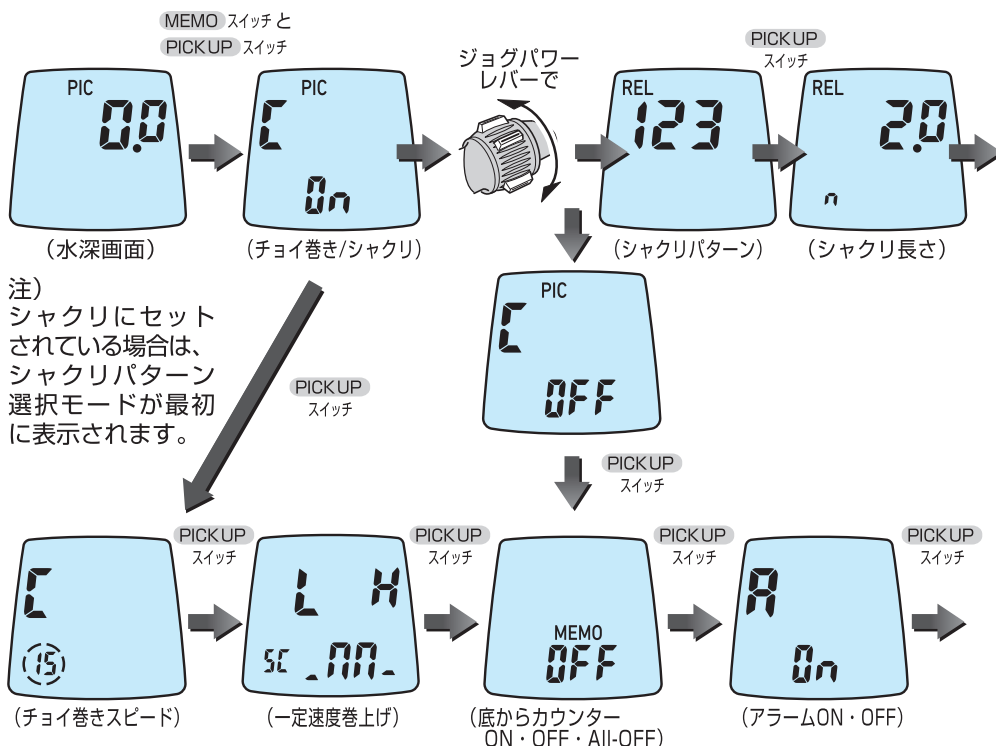
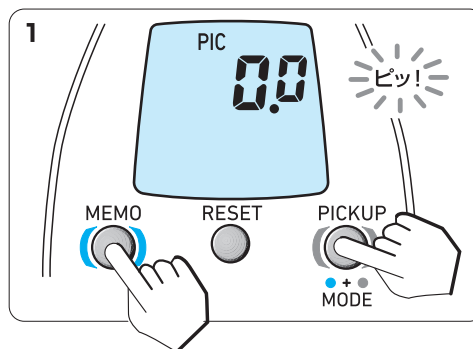
1. MEMO (底から/棚メモ) スイッチ と

PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ

を同時に2秒間押し続けてください。

※誤操作防止のため、2秒押しとなっています。

(チョイ巻きシャクリ画面になります。)



2. PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ を押し、セットする画面を選びます。

PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ

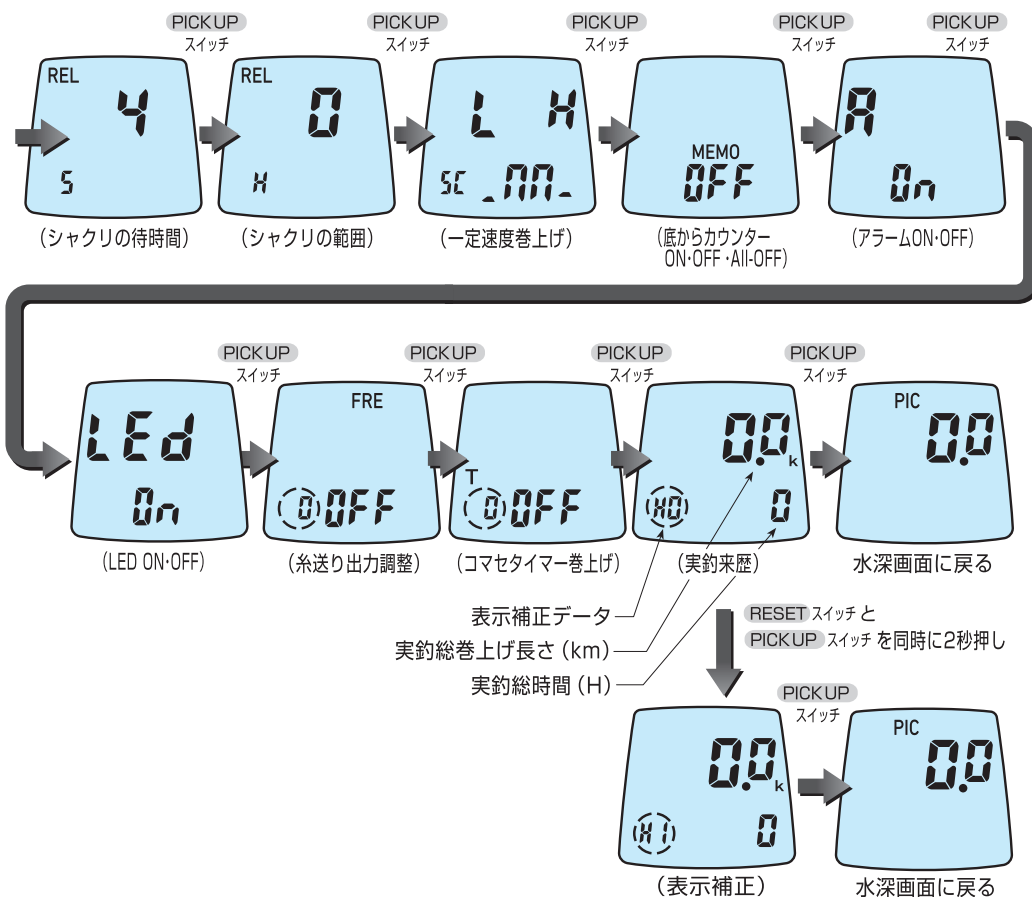
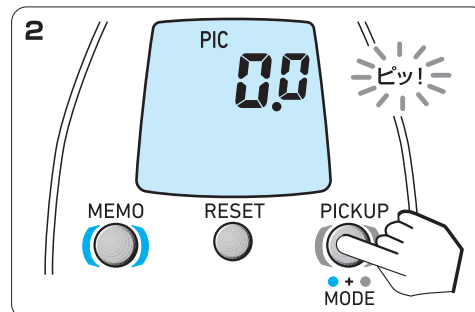
を押すたびに、設定できる機能の表示が変わります。

※ PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ

を押し続けると、画面が早送りされ水深画面に戻ります。

※モード画面で、設定値を変更しても、各画面で RESET (リセット) スイッチを押せば、初期設定に戻ります。

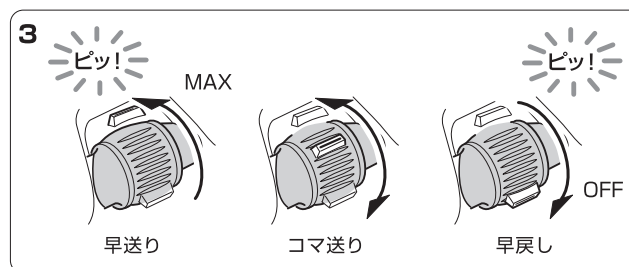
※糸送り作動中は、PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを押して便利機能を設定することはできません。



機能設定の基本操作「1.モード画面の使い方」

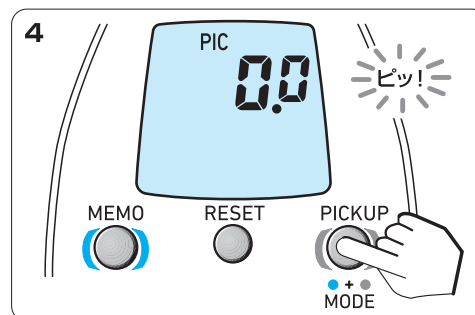
3. ジョグパワーレバーで各機能のON/OFFや数値を選択します。

- ・ジョグパワーレバー「MAX」は数値の早送り、「OFF」は数値の早戻しになります。
- ・ジョグパワーレバーの「MAX」と「OFF」の間は数値のコマ送りになります。
- ・ジョグパワーレバー操作で「ON」と「OFF」が交互に現われます。



4. PICK UP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチを押し、次の画面に移ったら前の画面の内容はセット完了です。

- PICK UP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ**
 を押し続けると、画面が 早送りされ水深画面に戻ります。
 ・水深画面に戻して、釣りを始めてください。



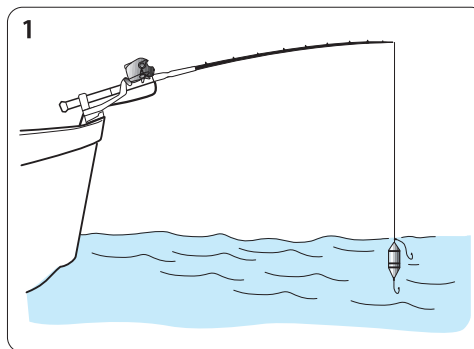
- ・設定画面のときに **RESET (リセット) スイッチ** を押すと、初期設定値に戻ります。
 (実釣来歴は除きます。)

機能設定の基本操作「2.釣りを始める前に」

●水面ゼロ設定

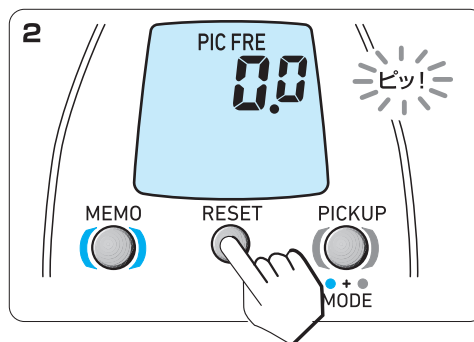
釣りを始める前に必ず行ってください。正確な棚取りが行えます。

- 1.コードをつなぎ、糸を出し、仕掛けをセットします。



- 2.竿を出し、仕掛けが水面にある時に
RESET (リセット) スイッチ
を押します。

表示が 0.0 mになり STP (船止) が点灯しセット完了です。



・新しい糸を巻いたときや、大物を掛けたときは糸の伸びにより船べり停止位置がずれることがあります。そのときは再度水面ゼロ設定を行なってください。

●道糸が切れてしまったら

- ・道糸が切れてしまった場合、糸切れ修正を行なってください。
 - ・切れたライン分のラインデータを修正します。通電状態のまま竿先まで巻き上げ、RESET (リセット) スイッチ を2秒以上押してください。表示が 0.0 になれば完了です。
- ※上記の作業によってラインデータが上書き (修正) されます。
- ※糸切れした場合のデータ修正以外は、カウンター誤差の原因になりますので、RESET (リセット) スイッチ の長押しはしないでください。

機能設定の基本操作「3.船べり自動停止」

●船べり自動停止

よそ見をしていても船べりオートストップ。巻き込み安心、手返しラクラク。

- ・パワーレバー巻き上げ、シャクリ、コマセタイマー巻き上げいずれも船べりで自動的に巻き上げが停止します。
- ・仕掛けセットした後は、水深カウンター表示を合わせるために必ず仕掛けを水面（水深0m）にした状態で **RESET**（リセット）スイッチ を押し、カウンター表示を **0.0** m にしてください。（水面ゼロ設定）（液晶内に **STP**（船止）が点灯します。）

■ **RESET**（リセット）スイッチ を押していない場合

⇒巻き込み防止のため、船べり5m手前で自動停止します。

■ 水面ゼロ設定など、 **RESET**（リセット）スイッチを押した場合

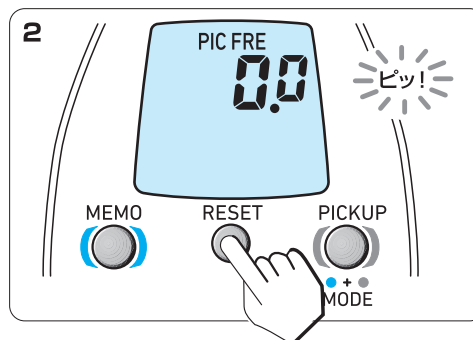
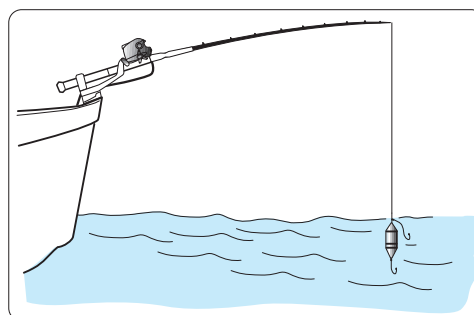
⇒水深カウンター8mから2mおきにお知らせアラーム。船べり2m手前で自動停止します。

■ えられる船べり自動停止で、停止位置 をセットした場合（P.32参照）

⇒セットした停止点の6m手前より、2mおきにお知らせアラーム。セットした停止位置で停止します。

- ・船べり停止後は、パワーレバー操作にてカウンター **0.0** mまでは巻き上げますが、カウンター **0.0** m後は、誤操作による竿巻き込み防止のため **RESET**（リセット）スイッチ を押さない限り、パワーレバーでは巻き上げしません。
- ・船のゆれや、オモリの号数によっては、停止位置が多少オーバーランすることがあります。そのときは、設定値を増加させてご使用ください。

- ・水深100m以上で負荷の変動が大きい時は、停止位置のズレにより仕掛けを巻き込み、ロッドを破損する恐れがあります。このような釣りの際は、船べり停止位置を余裕をもって設定してください。



※必ず水面ゼロ設定（P.29参照）を行ってから仕掛けを投入してください。

機能設定の基本操作「4.えらべる船べり自動停止」

●えらべる船べり自動停止

船べり停止位置が思いのまま、さらに手返しラクラク。

- ・えらべる船べり自動停止は、**RESET(リセット)** スイッチを押した位置より1m～5mの範囲内で船べり停止位置を任意に選んでセットすることができます。(10cm単位)
- ・特にコマセ釣りの場合は、船べり停止し、ロッドを立てればビシが手元にくるよう、えらべる船べり自動停止位置をセットすれば手返しに大変便利です。
- ・糸ののびにより船べり自動停止位置が下にズれてくるように感じる場合があります。そのときは、再度、水面ゼロ設定をやり直してください。
- ・船べり停止位置付近では、安全のためジョグパワーレバーでの操作がきかない場合があります。

1.リールを通电し、水面に仕掛けがある時に **RESET(リセット) スイッチを押します。(水面ゼロ設定)**

表示が **0.0** mになります。

2.ロッドを立てて、仕掛けの取りやすい位置や、取り込みのしやすい位置まで糸を出します。

図の場合は1.5m

便利

コマセ釣りの場合
・竿を立てたときビシがちょうど手元にくるように設定すれば、手返しに大変便利です。

3.その位置で **MEMO(底から/棚メモ) スイッチを約2秒間押し続けます。**

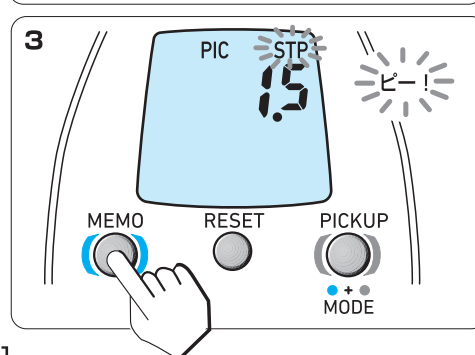
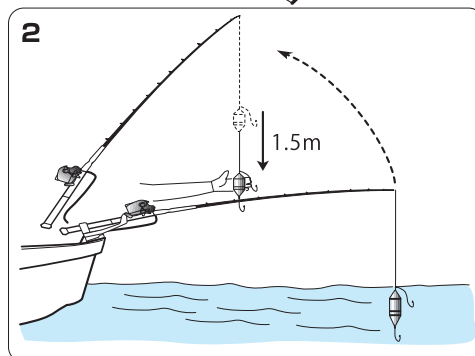
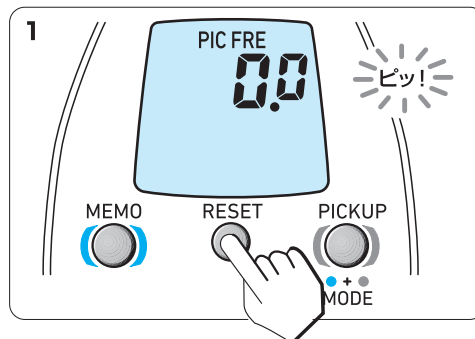
STP (船止) が点滅すれば、セット完了です。

※船べり自動停止の初期設定は2.0mです。

(**RESET(リセット)** スイッチを押さない場合は、5.0mで止まります。)

※設定が完了すると、**STP** (船止) ランプが点滅します。

4.仕掛けを回収する時は、設定値で電動巻上げが自動的に停止しますので、ロッドを立てれば仕掛けが手元に来ます。



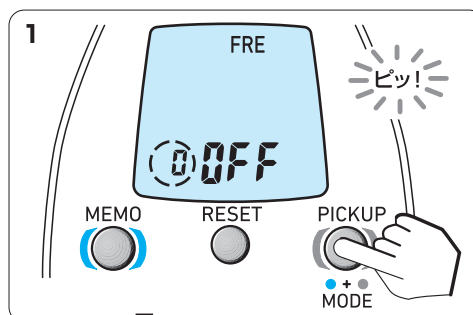
機能設定の基本操作「5.糸送り機構」

●糸送り機構

モーターギアが逆転し、スプールが糸の出る方向に回って糸の出を補助します。

1. MEMO (底から/棚メモ) スイッチ と PICK UP (チョイト巻/ジャクリ) スイッチ を同時に2秒間押して、モード画面にしてから、 PICK UP (チョイト巻/ジャクリ) スイッチ を押して、「糸送り出力調整」画面にしてください。

※P.26「モード画面の使い方」参照。
・初期設定は0 (OFF) になっています。

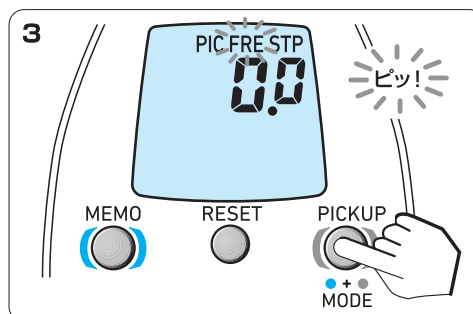


2. ジョグパワーレバーを奥に倒して出力設定してください。
(図は出力を5にした場合)



3. PICK UP (チョイト巻/ジャクリ) スイッチ を押して、「水深」画面に戻して完了です。
(FRE (糸送) が表示されます)

- ・糸送り出力を設定して仕掛けを投入 (クラッチOFF) すると、糸送り機構が船べり停止位置プラス2.5mから作動します。
- ・船のゆれや、潮の速さにより、糸送りのパワーを調整することができます。(0 ~ Hiまで32段階)
糸送りを設定するには、「糸送り設定」画面にてパワー表示を設定してください。
- ・バックラッシュ等で一度糸送りが止まると、再スタートしません。



注意

- ・糸送り (モーター作動) 中にクラッチをONにすると、糸が巻き込むときがあります。
- ・仕掛けが軽かったり糸送りの出力が大きいと多少オーバーランすることがあります。
(使用上問題はありませんが、気になる場合は糸送りの出力を弱めるか糸送りをOFFにしてください。)

機能設定の基本操作「6.チョイ巻きスピード設定方法」

●チョイ巻き

PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ を押している間だけ電動リールに巻取りをさせることができる便利な機能です。チョイ巻きの速さは初期設定では15ですが、モード画面で変更することができます。(0～Hiまで設定可能です。)

●チョイ巻きスピード設定方法

1. MEMO (底から/棚メモ) スイッチ と PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ を同時に2秒間押してモード画面にしてから、PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ を押して「チョイ巻」画面にしてください。

REL (シャクリ) 画面になった場合は、パワーレバーを動かすか、RESET (リセット) スイッチ を押して右図の画面にしてください。

2. もう一度、PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ を押します。

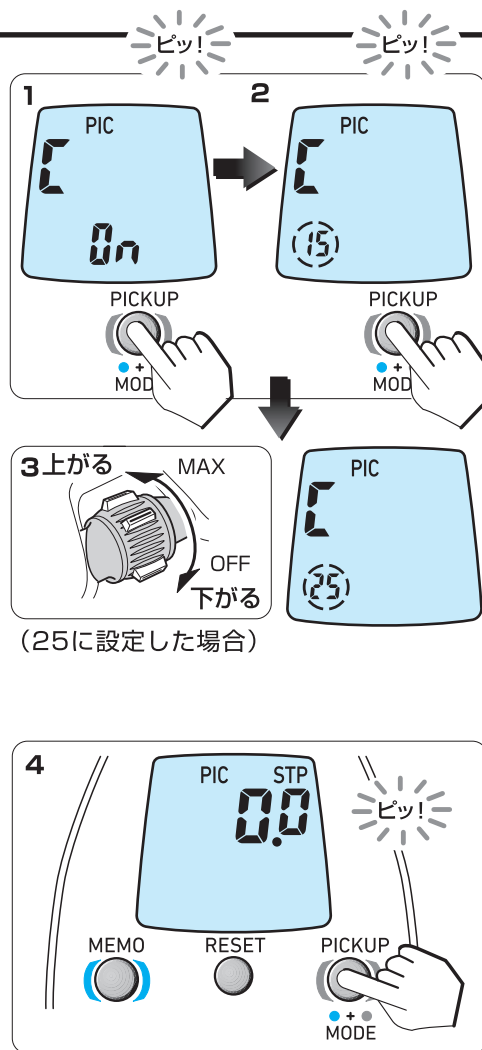
チョイ巻きスピード設定画面になります。

3. ジョグパワーレバーでスピードを設定します。

設定値は0～Hiまでです。

4. PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ を押し、「水深」画面に戻せばセット完了です。

画面に PIC (チョイ巻) が表示されます。



注意

- ・ PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ での巻上げの場合は、巻上げスピード実測表示はされません。
- ・ 船べり停止位置+3mからは、安全のためスイッチを押しても作動しません。

機能設定の基本操作「7.チョイ止め設定方法」

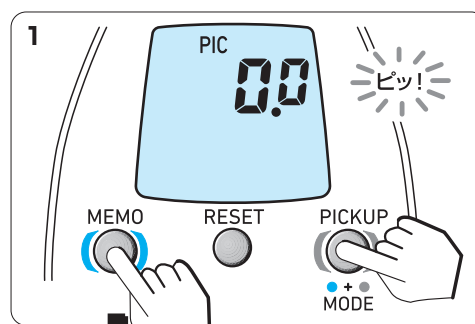
●チョイ止め

電動巻上げをしている時、PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを押している間だけ電動巻上げを止めることができる便利な機能です。スイッチを放せばジョグパワーレバーの位置の速度で巻上げを始めます。

●チョイ止め設定方法

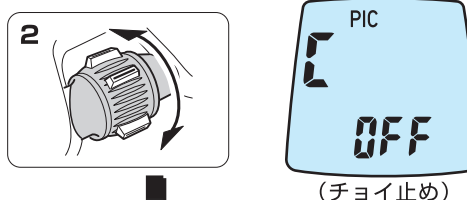
1. MEMO (底から/棚メモ) スイッチと
PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ
を同時に2秒間押してください。

チョイ巻き/シャクリ画面になります。
チョイ巻き/シャクリ画面ではない場合は
ジョグパワーレバーを操作してチョイ巻き
/シャクリ画面にしてください。



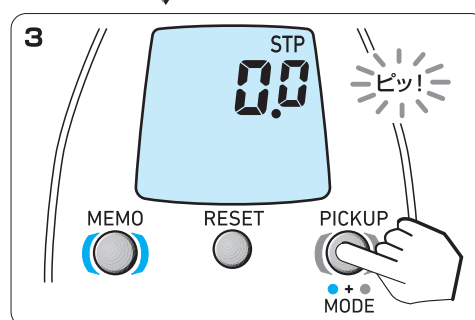
2. ジョグパワーレバーを操作して、
OFFにしてください。

ジョグパワー
レバーで



3. PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ
を押して水深画面に戻せばセット完
了です。

画面に **PIC** (チョイ巻) が消灯します。



⚠ 注意

- ・ チョイ巻スイッチを押している時に、もとの位置から±3以上ジョグパワーレバーを操作した場合、安全のため巻上げを停止します。

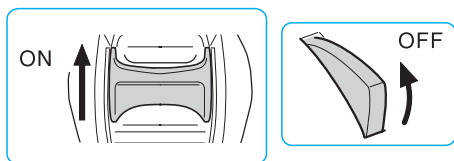
機能設定の基本操作「8.底からカウンター」

●底からカウンター

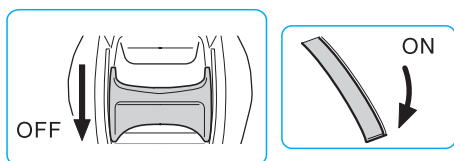
上からも底からも測れる。2つのカウンターが棚を両面攻撃。

※初期設定では底からカウンターはOFFになっていますので、底からカウンターをONにしてください。（P.36参照）
（水深100m、底6mで釣りをする場合を例にします）

- 1.仕掛けを投入してクラッチOFFにします。

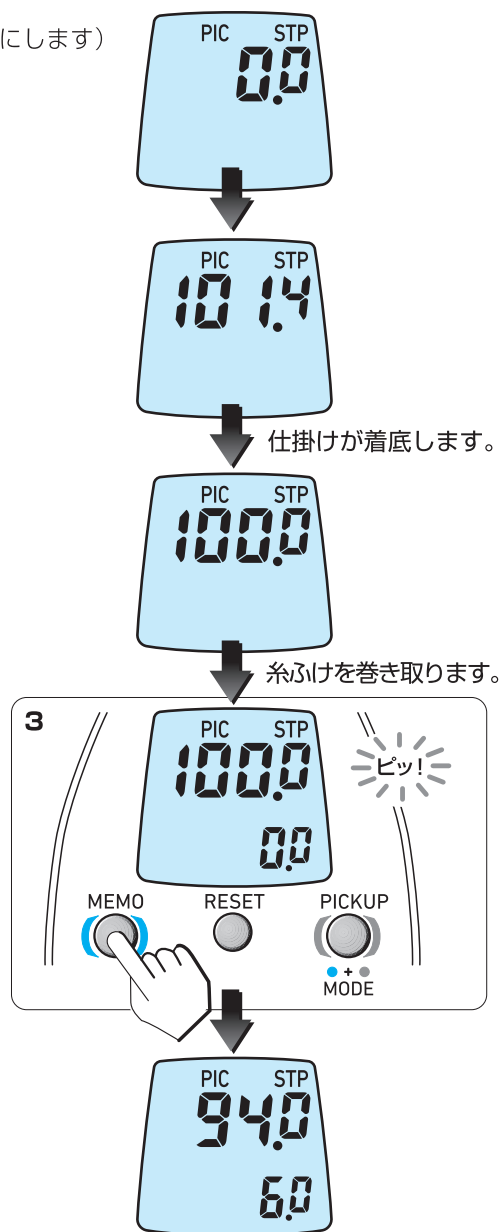


- 2.着底したら、ハンドルを回すか、ワンプッシュONクラッチレバーを押してクラッチをONにします。



- 3.糸ふけを巻き取ってから、
MEMO（底から/棚メモ）スイッチ
を押し、棚までの距離（例：6m）
を巻き上げます。

MEMO（底から/棚メモ）スイッチ
を押すと、下のカウンター表示が 0.0
mになりますので、カウンターを見なが
ら必要なだけ巻き上げてください。



機能設定の基本操作「8.底からカウンター」

底からカウンターを完全に非表示 (All-OFF) にしたい場合は、以下の手順で行ってください。
(この場合、巻上げスピード実測値も表示されません。)

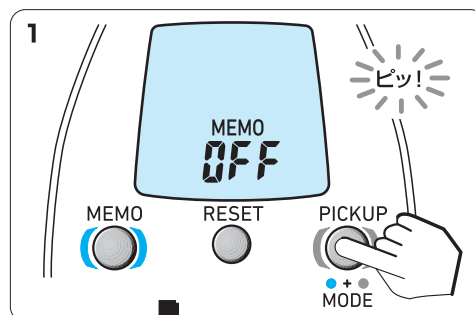
1. PICK UP (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチ

を押して底からカウンターON・OFF画面にします。

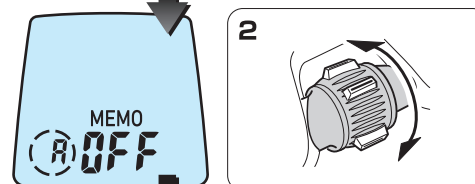
(MEMO が表示されます。)

※P.26「モード画面の使い方」参照。

※初期設定は底からカウンター表示 OFF になっていますので、この状態で下のカウンターに巻上げスピード実測値を表示します。



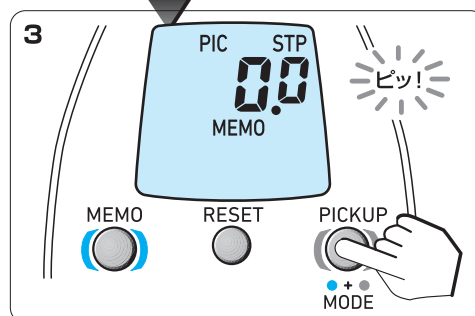
2. ジョグパワーレバーで底からカウンターをAll-OFFにします。



3. PICK UP (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチ

を押して水深画面に戻ればセット完了です。

MEMO が点灯し、底からカウンターが作動します。



※底からカウンターの設定は以下の3通りが可能です。

		底からカウンター表示	巻上げスピード実測値表示	
①	底からカウンター OFF 	ハンドル手巻き時のみ表示あり	電動巻上げ時に表示あり	※初期設定はこちらになっています。(P.38参照)
②	底からカウンター All-OFF 	常に表示なし	常に表示なし	
③	底からカウンター On 	常に表示あり	常に表示なし	(P.38参照)

機能設定の基本操作「9.巻上げスピード実測値表示」

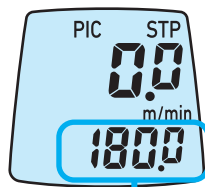
●巻上げスピード実測値表示

底からカウンターがOFFになっている場合、電動で巻上げた時に下のカウンターに巻上げスピード実測値を表示します。(初期設定)

※コマセタイマー表示部は船べり停止までの残り時間表示です。
(船べり停止の約5秒前で消灯します。) ※P.41「船べり停止位置残り時間表示」参照。この場合、ジョグパワーレバーの出力は操作後5秒間のみ表示されます。(その後は船べり停止残り時間表示になります。)

※ PICKUP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ での巻上げの時はスピード表示は出ません。

※単位はm/分です。



例：180m/分の場合

巻上げスピード実測値表示を消したい場合は以下の手順で底からカウンターをONにしてください。

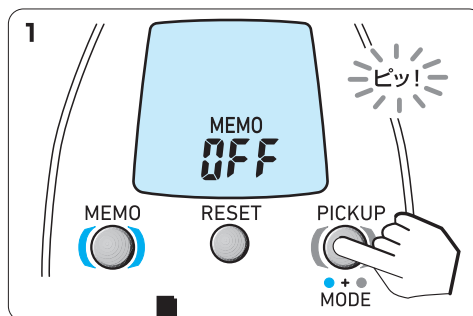
1. PICKUP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ

を押して底からカウンターON・OFF画面にします。

(MEMO (底から/棚メモ) が表示されます。)

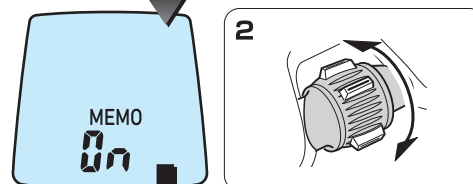
※P.26「モード画面の使い方」参照。

※初期設定は底からカウンター表示 OFF になっていますので、この状態で下のカウンターに巻上げスピード実測値を表示します。



2. ジョグパワーレバーでONにします。

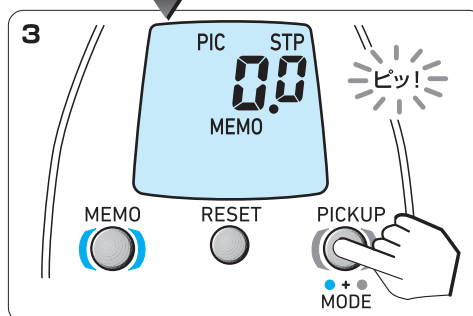
※下のカウンターは常時、底からカウンターとして動作します。



3. PICKUP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ

を押して水深画面に戻ればセット完了です。

(MEMO (底から/棚メモ) が点灯し、底からカウンターが作動します。)

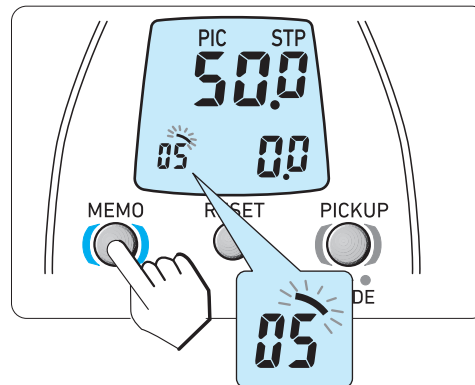


機能設定の基本操作「10.コマセタイマー」

●コマセタイマー

毎回、仕掛け投入経過時間をズバリ表示。手返しペースを作るのにとっても便利。

- ・仕掛け投入開始からの経過時間を表示します。コマセ振りや仕掛け回収のタイミングを測る目安になります。
- ・コマセタイマーは
MEMO (底から/棚メモ) スイッチ が押されていないときは、水面カウンター7.0mよりオートスタートします。



※ 1分以内は秒単位、1分以上は分単位で表示されます。

※ タイマー機能は解除できません。



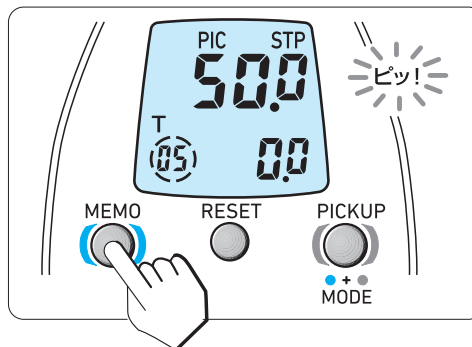
・途中で MEMO (底から/棚メモ) スイッチ を押した場合は、タイマー表示が 0.0 からスタートします。

機能設定の基本操作「11.コマセタイマー巻上げ」

●コマセタイマー巻上げ

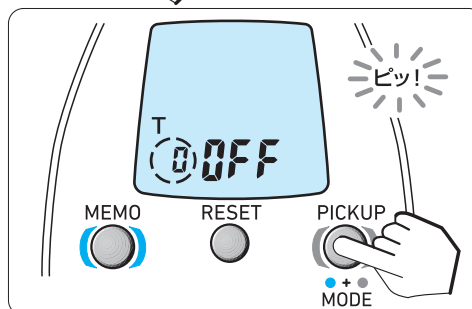
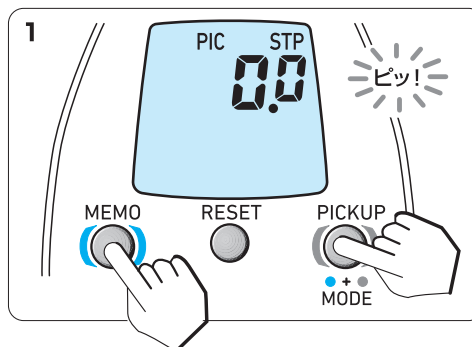
初心者もプロの手返し！待ち時間をセットすればリールが自動で巻上げてくれるから、より効率の良い釣りが簡単にできます。

- ・1回の投入の待ち時間を5分とリールに設定すれば、タイマーがスタートした時点より5分たてば、自動的にリールが手返しのため高速で仕掛けを巻き上げます。
 - ・コマセタイマー巻上げがセットされると、液晶内に **T** (タイマー) が点灯します。解除するときは設定を **O** (OFF) にしてください。 **T** (タイマー) が消灯します。
 - ・セットした時間は **MEMO** (底から/棚メモ) スイッチを押すことにより、確認することができます。
 - ・コマセタイマーの巻上げの設定は、電動巻き上げ中以外はいつでもできます。
- ※コマセタイマーの巻上げのスタートは、**MEMO** (底から/棚メモ) スイッチ を押してください。
- ※コマセタイマー巻上げは、底からカウンターが±20mの範囲は自動で作動します。±20m以外では一度 **MEMO** (底から/棚メモ) スイッチ を押してください。



1. **MEMO** (底から/棚メモ) スイッチ と **PICKUP** (チョイト巻/シャクリ) スイッチ を同時に2秒間押してモード画面にしてから、さらに **PICKUP** (チョイト巻/シャクリ) スイッチ を押し、コマセタイマー巻上げ設定画面にします。

※P.26「モード画面の使い方」参照。
・初期設定はOFFになっています。



機能設定の基本操作「11.コマセタイマー巻上げ」

2. ジョグパワーレバー操作で手返しの待ち時間 (分) を入力します。

レバーを上げると数値が上がり、手前に引くと数値が下がります。

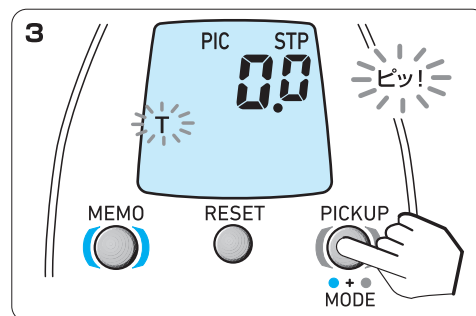
(図は待ち時間を5分にセットした場合です。)



3. PICK UP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ

を押して、水深画面に戻ったらセット完了です。

画面に **T** (タイマー) が点灯します。



4. セットした時間がくると、自動的に MAXスピードで仕掛けを巻き上げます。

・巻き上げ前にアラームが鳴ってお知らせします。

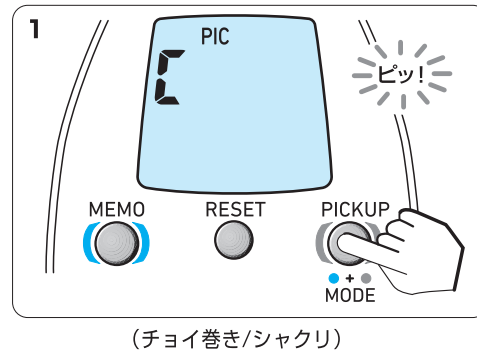
機能設定の基本操作「12.シャクリ」

●シャクリ

電動リールにシャクリ（さそい）をさせる便利な機能です。設定後、PICK UP（チョイ止・巻/シャクリ）スイッチ を押せばシャクリがスタートします。シャクリの速さはジョグパワーレバーで調整できます。

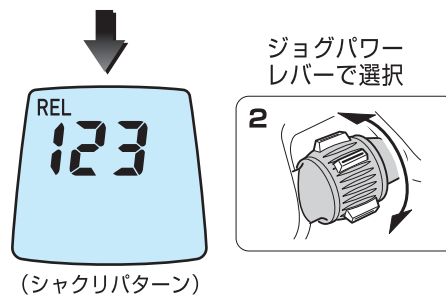
1. MEMO（底から/棚メモ）スイッチ と PICK UP（チョイ止・巻/シャクリ）スイッチ を同時に2秒間押し、チョイ巻き/シャクリ画面にします。

※REL（シャクリ）を設定した場合は、PIC（チョイ巻き）表示はできません。



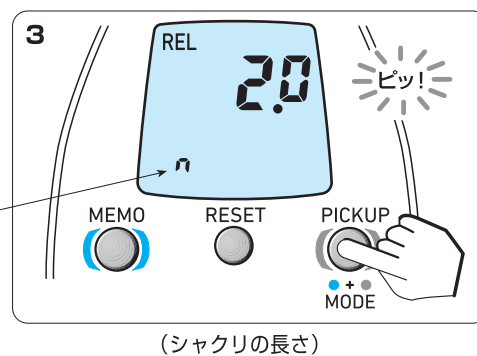
2. ジョグパワーレバーでシャクリのパターンをセットします。

シャクリ画面設定は、
パターン→長さ→待時間→範囲の順です。
(段) (m) (秒) (m)



3. PICK UP（チョイ止・巻/シャクリ）スイッチ を押し、次の画面に入ったらセット完了です。

※画面左下の「㇏」は「長さ」を表します。



機能設定の基本操作「12.シャクリ」

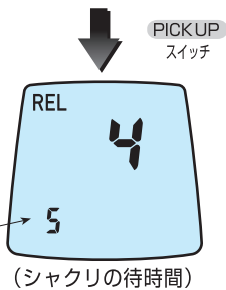
4. 同様に長さ (m) → 待時間 (秒) → 範囲 (m) を設定してください。

・シャクリの設定画面で

PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ

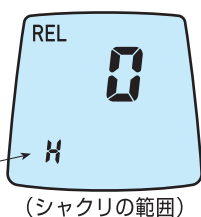
を押すと、セットが完了し水深画面へ
戻りシャクリがスタートします。

※画面左下の「5」は「秒」 (second) を表
します。(数字の「5」ではありません。)



PICKUP
スイッチ

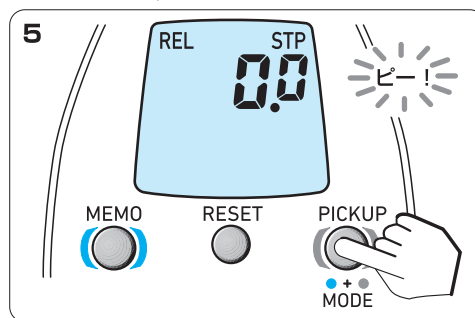
※画面左下の「H」は「範囲」を表します。



PICKUP
スイッチ

5. **PICKUP** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ

を長押しすると画面が早送りされ、
水深画面に戻ります。



6. **PICKUP** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ

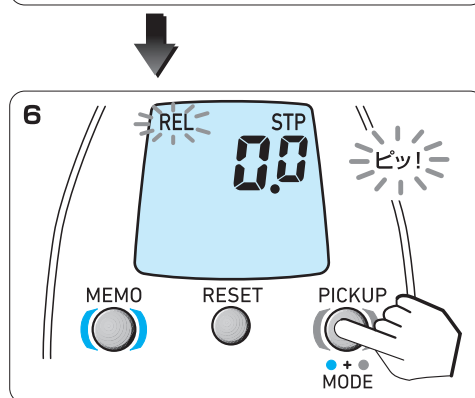
を押してジョグパワーレバーで速度
を設定すると、シャクリがスタート
します。

・画面に **REL** (シャクリ) が点灯しま
す。

(巻上げ中は **REL** (シャクリ) が点滅
します。)

・シャクリの速さはパワーレバーで調整し
てください。

・シャクリ中に **PICKUP** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ
を押すとシャクリが止まります。



機能設定の基本操作「13.えらべる名人シャクリ」

●えらべる名人シャクリ

シャクリのパターン・長さ・待ち時間・範囲が自由に選べます。

- ・ **PICKUP** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを押せばシャクリスタート、液晶内に **REL** (シャクリ) 表示が点滅します。(もう1度押せば、シャクリOFFになります) そして、ジョグパワーレバーで好みのシャクリスピードにセットします。
 - ・ シャクリの変速も、レバー操作1つで簡単にOK。
 - ・ シャクリ中に魚が掛かって、レバーをいちばん手前 (OFF) に戻せばシャクリOFF、再びレバーを前に倒せば、通常巻上げになります。
- ※シャクリ画面にするにはP.26「モード画面の使い方」を参照してください。



(初期設定は123段名人シャクリ)

PICKUP
スイッチ

シャクリの選択

①シャクリのパターン

1回のシャクリの長さを「何段」でシャクリをさせるかが選べます。

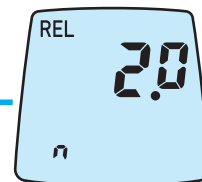
123段名人シャクリ	1段シャクリ	2段シャクリ	3段シャクリ
名人シャクリとは、1～3段のシャクリを1回がひとシャクリごとに自動選択して誘い続けるシステム。まさに変幻自在のシャクリ機構です。			

※図は竿でシャクリを表していますが、実際にはリールが巻き上げてシャクリをしています。

②シャクリの長さ

1回のシャクリの「長さ」を選べます。(オモリの号数や、シャクリのスピードによっては、多少長さがオーバーランすることがあります)

※0.5～10mの範囲を50cm単位で設定できます。



(初期設定は2m)

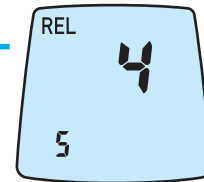
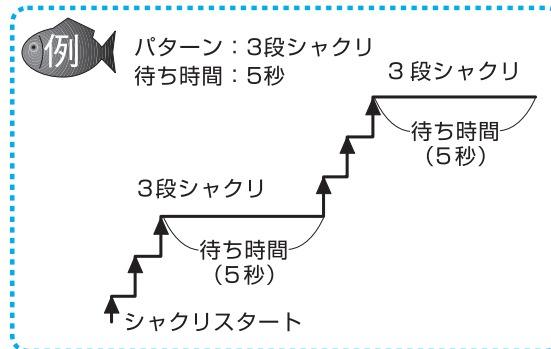
PICKUP
スイッチ

機能設定の基本操作「13.えらべる名人シャクリ」

③シャクリの待ち時間(秒)

シャクリとシャクリの「間隔(待ち時間)」を選べます。

※間隔は1秒単位で設定できます。



(初期設定は4秒)

PICKUP
スイッチ



注意

- ・「シャクリ」の「秒数」より「コマセタイマー巻き上げ時間」の設定が短いときは、「コマセタイマー巻き上げ時間」を優先させて作動します。

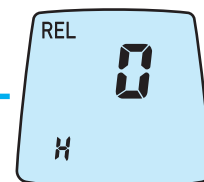
④シャクリの範囲

シャクリの「範囲」を選べます。

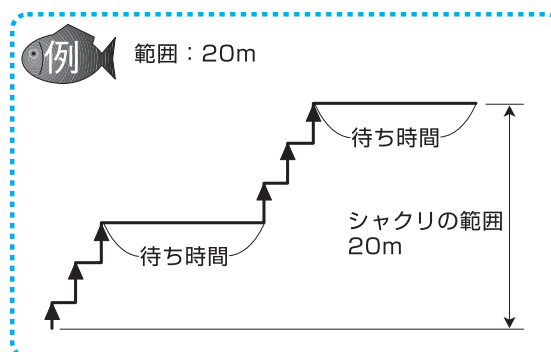
※範囲は1m単位で設定できます。

※範囲を0に設定した場合は、船べり停止位置までシャクリを行います。

※範囲を設定した場合は、その間だけシャクリを行います。



(初期設定は0)



機能設定の基本操作「14.一定速度巻上げモード」

●一定速度巻上げモード

通常は、リールに負荷がかかると巻上げ速度は遅くなりますが、一定速度巻上げモードにするとリールにかかる負荷に関係なく、設定した速度で巻上げます。
※海の状況や魚の動きによっては動作が不安定になることがあります。その際は解除してください。

1.一定速度巻上げモードにするには、 電動巻上げ中に

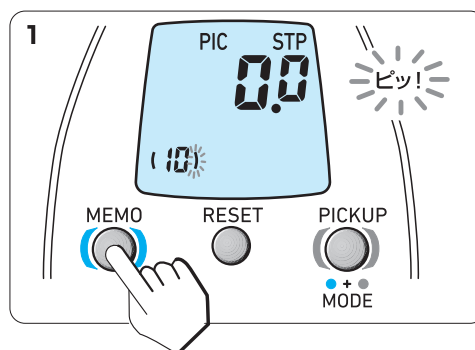
MEMO (底から/棚メモ) スイッチ
を2秒押してください。

※リールに負荷がかかっても、その時の速度を一定に保って巻上げます。

※アラーム音がして、巻上げ設定値の外枠が交互に点滅します。

※ **MEMO (底から/棚メモ) スイッチ**

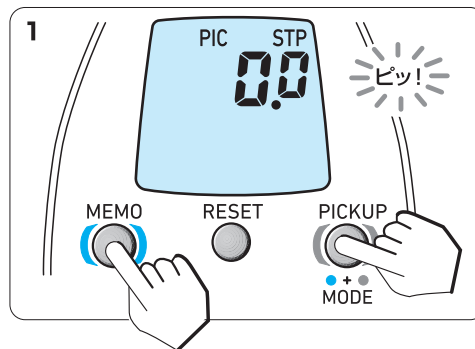
を押すかジョグパワーレバーを操作すると、一定速度巻上げモードは解除されます。
また、ジョグパワーレバーでの解除はタイムロスが生じますのでご注意ください。



■モーター出力変更のしかた

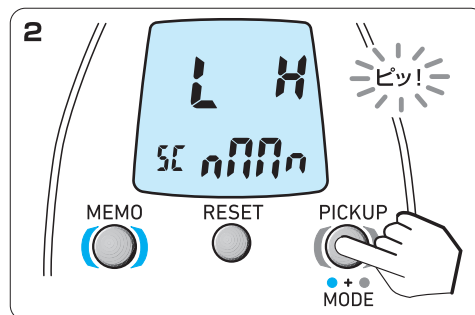
モーターの出力を5パターンに変更することができます。

1. **MEMO (底から/棚メモ) スイッチ** と **PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ** を同時に2秒間押つづけてください。



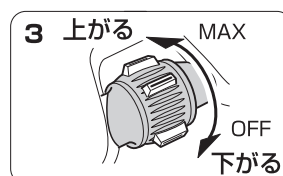
機能設定の基本操作「14.一定速度巻上げモード」

2. PICKUP (チョイ止・巻シャクリ) スイッチ
を押して一定速度巻上げモード画面
にしてください。



(初期設定)

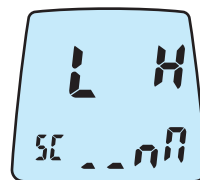
3. ジョグパワーレバーで出力を変更
してください。



- ・モーターの出力変動を大きく（制御をはやく）したい場合

※太めのハリスで、動きの速い魚の場合

- ・電動巻上げにより仕掛けをさそう場合、潮流などの変化にすばやく反応します。



- ・モーターの出力変動を小さく（制御をおそく）したい場合

※細めのハリスで、バレやすい魚の場合

- ・電動巻上げにより仕掛けをさそう場合、潮流などの速度変化にゆっくり反応します。

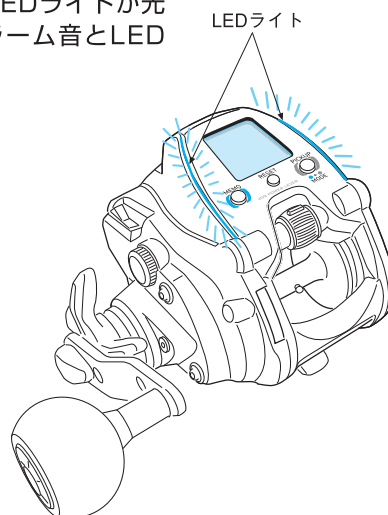


機能設定の基本操作「15.LED ON・OFF」

このリールは通電すると、ICカウンター両側のLEDライトが光ります。また、電動巻上げ中、10mごとにアラーム音とLEDライトの点滅をすることもできます。

初期設定は、LEd・Onの状態(①)になっていますので、設定を変更する場合にはモードを開いて、以下の3通りを選択してください。

※モード画面の使い方はP26,27参照



※LEDの設定は以下の3通りが可能です。

	ICカウンター 表示	ICカウンター 両側のLED	巻上げ中10mごとの アラーム音とLED点滅
①		ON	OFF
②		OFF	ON
③		OFF	OFF

※初期設定

機能設定の基本操作「16.表示補正」

●表示補正

カウンターの表示が糸色に対してズレてきた時、糸色に合わせてカウンター表示を補正することができます。

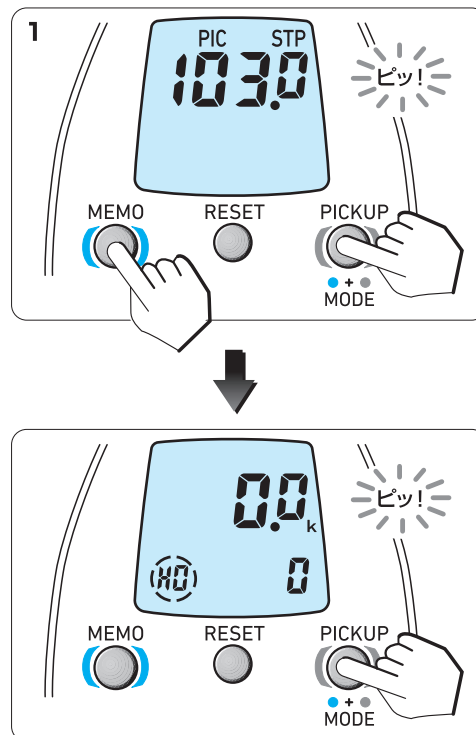
便利

実釣中にカウンターを補正することができます！

(例) 糸色ではちょうど100mに対しカウンターの表示を103mから糸色100mに合わせて補正する場合。

1. MEMO (底から/棚メモ) スイッチ と
PICKUP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ
を同時に2秒間押し続けてモード画面にしたら、さらに
PICKUP (チョイ止・巻/ジャクリ) スイッチ
を押して実釣来歴 (実釣時間・総巻
上げ長さ) の画面にしてください。

※P.26「モード画面の使い方」参照。



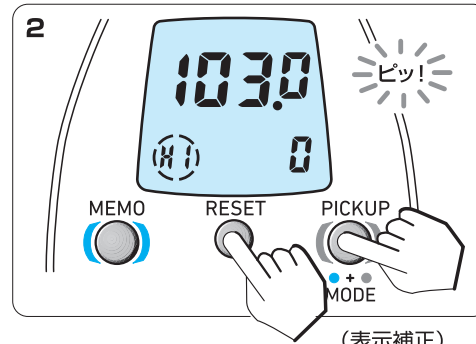
(図は0時間、0.0km未使用状態を示しています。)

機能設定の基本操作「16.表示補正」

2. RESET (リセット) スイッチと
PICK UP (チョイト巻/シャクリ) スイッチ
を同時に2秒以上押してください。

表示補正画面になります。

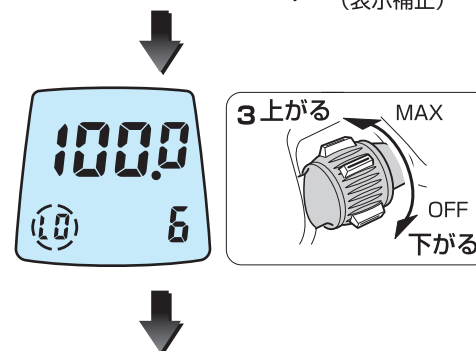
( は初期設定値です。)



3. ジョグパワーレバーを、上のカウン
ターが100になるまで手前 (OFF)
に戻してください。

※下がりすぎてしまった場合は、MAXに
すれば数値は上がります。

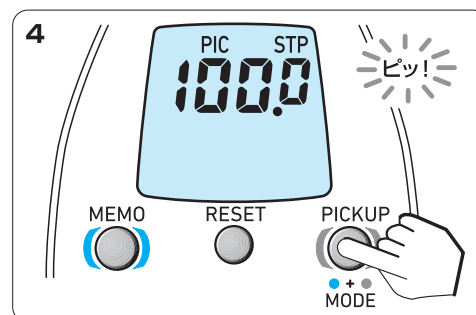
※100.0ちょうどにならない場合は、一番
近い数字に合わせてください。



4. 100にセットできたら
PICK UP (チョイト巻/シャクリ) スイッチ
を押し、水深画面に戻れば完了です。

※表示補正を行うと底からカウンターは消
灯しますので、使用の場合は、再度押
してください。

※補正画面の時、RESET (リセット) スイッチ
を押せば、補正前 (初期設定値HI 0) の
表示に戻ります。



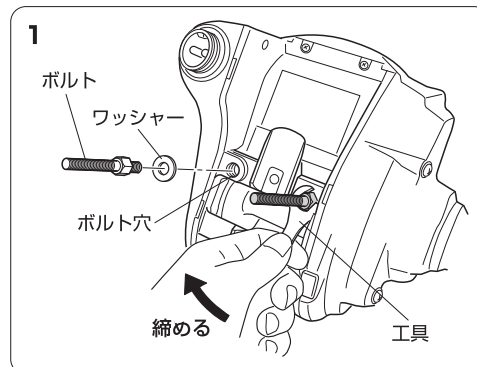
機能設定の基本操作「17.ロッドクランプ装着方法」(別売)

金属バットへの装着や、負荷の大きい釣りの場合は、別売のロッドクランプをご使用ください。

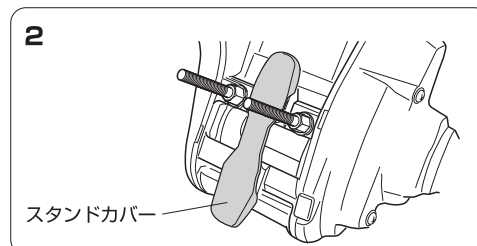
(※ロッドクランプは、バットの直径が18~25mmの太さまで取付け可能です。)

ロッドクランプの御注文は、電動リールをお買い求めの販売店にお願い致します。

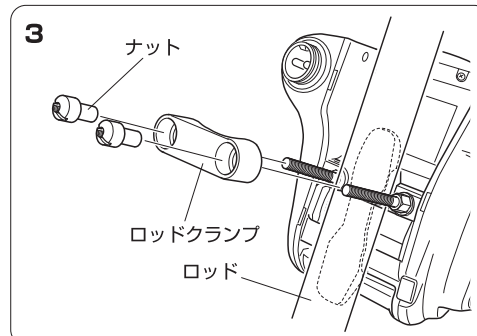
1. フレームとボルトの間にワッシャーを入れてからボルトを締め込み固定します。



2. スタンドカバーを取り付けます。
(P.13参照)



3. リールをロッドにセットし、ロッドをはさみ込むようにロッドの下からロッドクランプをあて、ナットをコインなどで締め付け固定します。



- ・ ロッドのリールシート部が樹脂の場合、ナットを強く締め込み過ぎますとリールシート部が破損する恐れがあります。
- ・ ボルトのみ取り付け状態で釣りをされますと、ネジ部で手を切る恐れがありますのでおやめください。

機能設定の基本操作「18.その他の便利機能」

●いろいろなアラーム



船べり、棚メモリー…さまざまな情報を音でお知らせ、いろいろなアラーム。

・ジョグパワーレバーアラーム

・ジョグパワーレバーのMAXの位置と、OFFの位置をアラーム音でお知らせします。

・船べりお知らせアラーム

・巻上げ中、船べり停止6m手前より2m間隔でピッ、船べり停止位置でピーッと鳴り仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るのをお知らせします。

・棚メモリーお知らせアラーム

・仕掛け投入中、メモリーした棚の10m手前より2m間隔でピッ、メモリーした棚ではピーッと鳴り、メモリーした棚にだんだん近付いて行くのをお知らせします。

※棚さぐり時に頻繁にアラームが鳴らないように、棚メモリーお知らせアラームはメモリーした棚より6m以上巻上げてから、再度糸を出さないと鳴らないようになっています。

・スイッチアラーム

・各スイッチを押すと、アラーム（ピッ）が鳴り、スイッチが確実に押されたことを音で確かめられます。（モード設定によりOFFすることもできます。）

・過電圧警告アラーム

・電源電圧がリールの使用可能範囲より高いとき、連続アラーム音を発し、警告します。ただちにその電源の使用をおやめください。

・タイマー巻上げお知らせアラーム

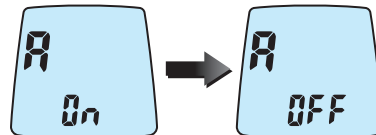
・コマセタイマー巻上げ前にアラームにてお知らせします。

●アラームON・OFF選択

アラーム音を設定により消すことができます。



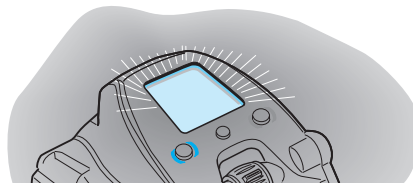
- ・初期設定はONになっています。
- ・アラームをOFFにすると、スイッチ操作やジョグパワーレバーを操作してもアラーム音は出ません。
- 1.モード画面でアラームON・OFF画面にしてください。
（P.26「モード画面の使い方」参照。）
- 2.ジョグパワーレバーを操作してOFFにしてください。
- 3. **PICKUP**（チョイ止巻/ジャクリ）スイッチを押して水深画面に戻ったらセット完了です。



●カウンターランプ

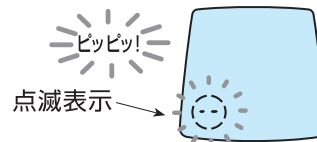
カウンター内のランプが常に点灯。

- ・薄暗いところでもカウンターが見えるよう、通電中はいつもカウンター内のランプがついています。



●ブレーカー作動表示

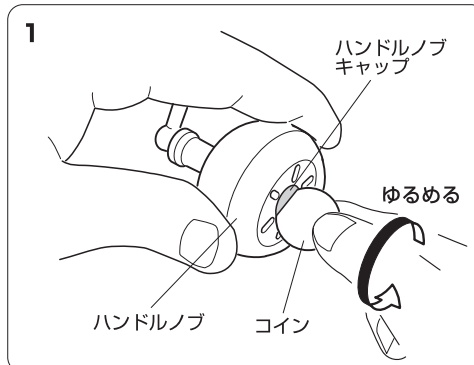
- ・安全に釣りをするため、リールに大きな負荷が加わるとブレーカーが作動し、15秒間電動巻上げを停止します。作動時はコマセタイマー/ジョグパワーレバー位置表示部に図のような表示が出ます。



機能設定の基本操作「19.ハンドルノブの取り外し方」

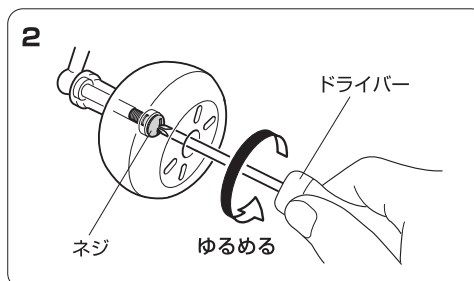
- 1.ハンドルノブを手で押えながらコインでハンドルノブキャップをゆるめて外します。**

※ハンドルノブキャップにコインをしっかりとみ合わせて回さないと、ハンドルノブキャップが傷付いてしまいますのでご注意ください。

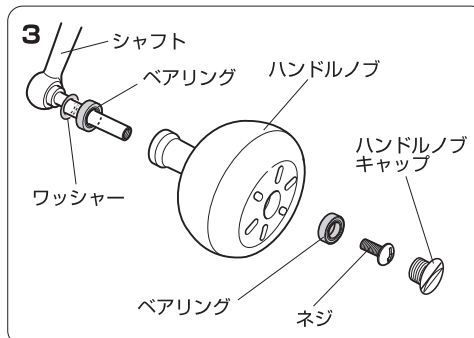


- 2.ドライバーでノブ内部のスクリューをゆるめて外します。**

※スクリューには、ゆるみ止め防止剤が付いていて、ゆるみにくくなっています。ネジ山を傷めないようにご注意ください。



- 3.部品構成は図のようになります。**



仕様一覧

●リール仕様一覧

シーボーク 300JL

製品コード			00810005
ギヤー比 (手動時)			4.7 : 1
標準自重 (g)			635
最大ドラグ力 (kg)			12
標準巻糸量 (m) ※ブライトとは、当社棚センサー ブライト (PE) のことです。	ブライト (号)	2	700
		3	400
		4	300
		5	230
	ナイロン (号)	5	280
		6	200
ベアリング入数 (ボール/ローラー)			13/1
電源電圧			DC12V～16.8V
最大巻上力 ※1			47 kg
常用巻上速度 (1kg負荷時) ※2			145 m/分
JAFS基準巻上力 ※3			12 kg
JAFS基準巻上速度 ※3			205 m/分
電流 (A)	無負荷時		3
	定格		5
	最大		20
変速機能	無負荷時		0～205 m/分 (無段階変速)
最適バッテリー ※4			ダイワスーパーリチウムシリーズ ダイワタフバッテリーシリーズ

※1：最大巻上力=電源電圧13V、軸トルクによる参考値。

※2：常用巻上速度=電源電圧13V、1kg負荷時の100m巻上げ速度の平均。

※3：JAFS基準巻上力/巻上速度=日本釣用品工業会規程、電源電圧13Vにおける測定値。

※4：コードレスバッテリーご使用上の注意。100号オモリ以上や青物等高負荷の場合は、リールの瞬間的な消費電流が大きく、バッテリーの保護回路（ブレーカー）が作動して一時的にリールが動かなくなる可能性があります。

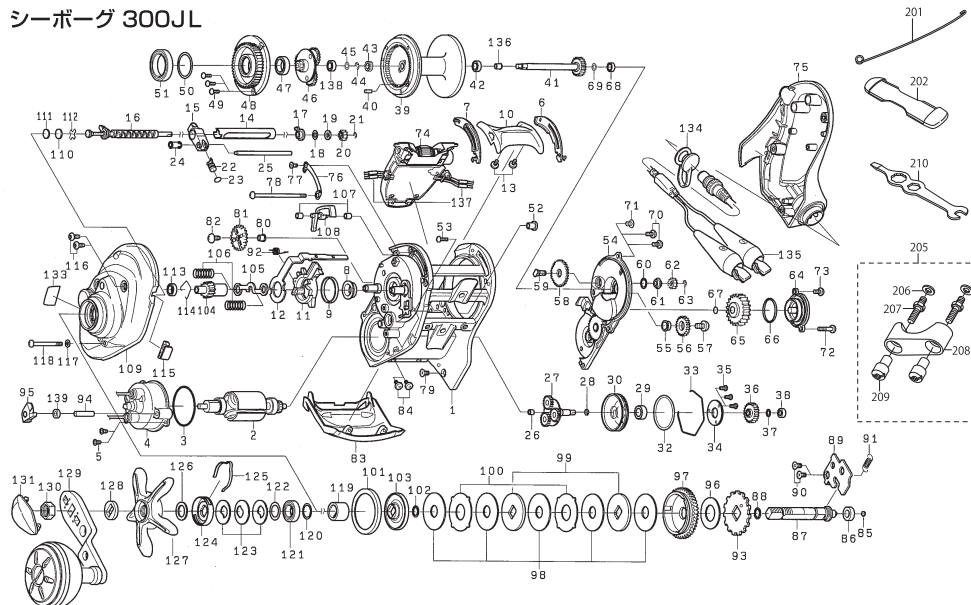
●カウンター部仕様

水深表示範囲	上のカウンター：0.0~999.9m 下のカウンター：-99.9~999.9m
使用可能温度	-10℃~60℃

※改良のため、仕様を予告なく変更することがあります。

展開図

シーボグ 300JL



No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	フレームASショウ	39	スプーールAS	76	プレート	113	ホールベアリング
2	ローターUN	40	ピン	77	ナベコネジ	114	リンク
3	リンク	41	メインシャフトAS	78	ナベコネジ	115	ライントッパ
4	モーターホルダーUN	42	ホールベアリング	79	サラコネジ	116	スクリュ
5	サラコネジ	43	キア	80	カラー	117	ワッシャー
6	プレート(R)	44	リテイナ	81	キアAS	118	ナベコネジ
7	プレート(L)	45	ワッシャー	82	トラスコネジ	119	カラー
8	ベアリング	46	メタルAS	83	フィンカカバ	120	ワッシャー
9	カラー	47	ファミゾタマシクウケ	84	ナベアタマタツピンネジ	121	ホールベアリング
10	クラッチカバー	48	プレート	85	ワッシャー	122	ワッシャー
11	クラッチカム	49	ナベコネジ	86	ベアリング	123	スプリングワッシャー
12	クラッチカムプレート	50	ワッシャー	87	キアシャフト	124	キャップAS
13	ヒラコネジ	51	ホールベアリング	88	リンク	125	リフスプリング
14	パイプ	52	カラー	89	プレート	126	ワッシャー
15	レールワイント	53	トラスコネジ	90	サラコネジ	127	スタートラグ
16	ウォームシャフトAS	54	セットアッププレートAS	91	スプリング	128	カラー
17	カラー	55	カラー	92	スプリング	129	ハンドルAS
18	ワッシャー	56	キア	93	ラチェット	130	ナット
19	ワッシャー	57	トラスコネジ	94	ピン	131	キャップ
20	キア	58	キア	95	ストッパAS	133	ネームプレート
21	リテイナ	59	リベット	96	ワッシャー	134	キャップ
22	レールワイントピン	60	ワッシャー	97	ドライブキア	135	コート
23	ワッシャー	61	カラー	98	ワッシャー	136	カラー
24	カラー	62	キア	99	ワッシャー	137	チューブ
25	ピラー	63	リテイナ	100	ワッシャー	138	ホールベアリング
26	ベアリング	64	プレートAS	101	バック	139	カラー
27	メタルAS	65	キアAS	102	リンク	200	リールバックタイ
28	リンク	66	リンク	103	カラー	201	イトオシ
29	ホールベアリング	67	ワッシャー	104	ピニオン	202	スタントカバー
30	プレート	68	ホールベアリング	105	クラッチプレート	203	シール
32	リンク	69	ワッシャー	106	スプリング	204	マニュアル
33	リンク	70	ナベコネジ	107	カラー	205	ロッドクランプセット(別売り)
34	プレート	71	ヒラコネジ	108	レバAS	206	ロッドクランプW(別売り)
35	ナベコネジ	72	ナベコネジ	109	サイドプレート(L)AS	207	ロッドクランプSC(別売り)
36	キア	73	ナベコネジ	110	ワッシャー	208	ロッドクランプ(別売り)
37	ワッシャー	74	カウンターAS	111	ワッシャー	209	ロッドクランプナット(別売り)
38	ホールベアリング	75	サイドプレート(R)AS	112	ワッシャー	210	ドライブ(別売り)

※調整、その他により、展開図、部品表内容が製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな？と考える前に

症 状	考えられる原因	処 置	参 照 ページ
パワーレバーを操作しても、モーターが回転しない。	・ 船べり停止後、そのまま巻き続けカウンター表示が m になっています。	・ 正常です。(巻込み防止のため手動以外作動しないようにしてあります) RESET (リセット) スイッチを押せば巻き上げ可能になります。	31
	・ レバーを1度OFFの位置に戻していません。	・ 1度レバーをOFFの位置に戻して巻き上げを開始してください。	13
	・ 安定しない船の電源を使用しています。	・ 船電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。	9
カウンターがつかない。	・ バッテリーの残量切れです。	・ バッテリーを再充電してご使用ください。	9
	・ コードの断線です。	・ コードを新品と交換してください。	
	・ バッテリーと 、 が正しく接続されていません。	・ 正しく接続し直してください。	8
底からカウンターが見つからない。	・ MEMO (底から/棚メモ) スイッチを押していません。	・ 正常です。 MEMO (底から/棚メモ) スイッチを押してください。(スイッチを押さないと底からカウンターは点灯しません。)	35~37
	・ 底からカウンターがAll-OFFになっています。	・ モード画面で底からカウンターOnまたはOFFに設定してください。	
船べり停止位置がおかしい。	・ 仕掛けセットしたとき、 RESET (リセット) スイッチを押していません。	・ 仕掛けをセットした後は必ず水面ゼロ設定をしてください。	29
	・ オモリの号数や船のゆれによって多少ズレることがあります。	・ えらべる船べり停止の設定値を調整してください。	30,31
	・ 糸がのびて水面ゼロ設定点の下にズレてしまっています。	・ 水面ゼロ設定を再度行ってください。	30,31
カウンター表示に誤差が多い。	・ 使用中に道糸がのびることがあり、カウンター表示と色糸との間に差が生じることがあります。	・ 再度、道糸データを入力してください。	16~25
		・ 表示補正をしてください。	48,49
	・ 実釣中、電源が消えた時に糸を巻いてしまった。	・ 再度、道糸データを入力してください。	16~25
	・ 糸を出している時に、 RESET (リセット) スイッチを長押ししてしまった。	・ 再度、道糸データを入力してください。	
	・ 大幅な表示補正をしています。	・ 補正を解除してください。	48,49
糸送り中(モーター作動中)にクラッチONにすると糸が巻き込む。	・ 仕掛けが軽かったり、糸送りの出力が大きいと多少オーバーランすることがあります。	・ 使用上問題はありませんが、気になる場合は糸送りの出力を弱めるか、糸送りをOFFにしてください。	32
チョイ巻きスイッチを押しても巻けない。	・ 速度設定が0になっています。	・ モード画面で速度を設定してください。	33
シャクリスイッチを押してもシャクリしない。	・ ジョグパワーレバーがOFFになっています。	・ ジョグパワーレバーでシャクリの速さを決めてください。	41~44
	・ チョイ巻き設定になっています。	・ モード画面でシャクリの設定をしてください。	

※ 上記の点検が行なわれてもなお、正常に戻らない場合、およびほかの故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は、お買い求めの販売店、または取説裏面に記載されたお客様センターにおたずねください。